

春夏 spring-summer  
2023

vol.  
**31**

# 春風新聞

shumpu shimbun



春風社  
Shumpusha Publishing Co., Ltd.  
〒220-0044  
横浜市西区紅葉ヶ丘 53  
横浜市教育会館 3F  
TEL (045)261-3168  
FAX (045)261-3169  
www.shumpu.com  
✉ info@shumpu.com

- 【図書目録】 哲学・思想・宗教 4 / 新井奥達 4 / シリーズ幻想と怪奇の英文学 4 / 文学評論 5 / 小説・詩歌・エッセイ 6 / 総記・辞典・事典 6  
演劇・音楽・芸術 7 / 東洋英和女学院大学社会科学叢書 7 / 教育 8 / 言語・心理 9 / 社会・歴史・政治 10 / 横浜市立大学新叢書 11  
立教大学人文叢書 11 / 人類学 11 / シリーズ来たるべき人類学 12
- 【連載】 日々の風 暮らしのなかの哲学 長谷川宏 4 / 翻訳ピンチ! 中条省平 6 / 帰ってきた mini 大河 しりあがり寿 7 / 英文学にデコピン 阿部公彦 8  
コ・プレゼンスの時代へ 吉原直樹 9 / ポストモダンの処方箋 白井聡 10
- 【コラム】 自著を語る 11 / 春風接人 12



吾等も凡て仕事師ならざる  
べからず。而して仕事の形  
は種々に変はるとも、其の  
意味に於ては一也。即ち人  
を造ること之れなり。

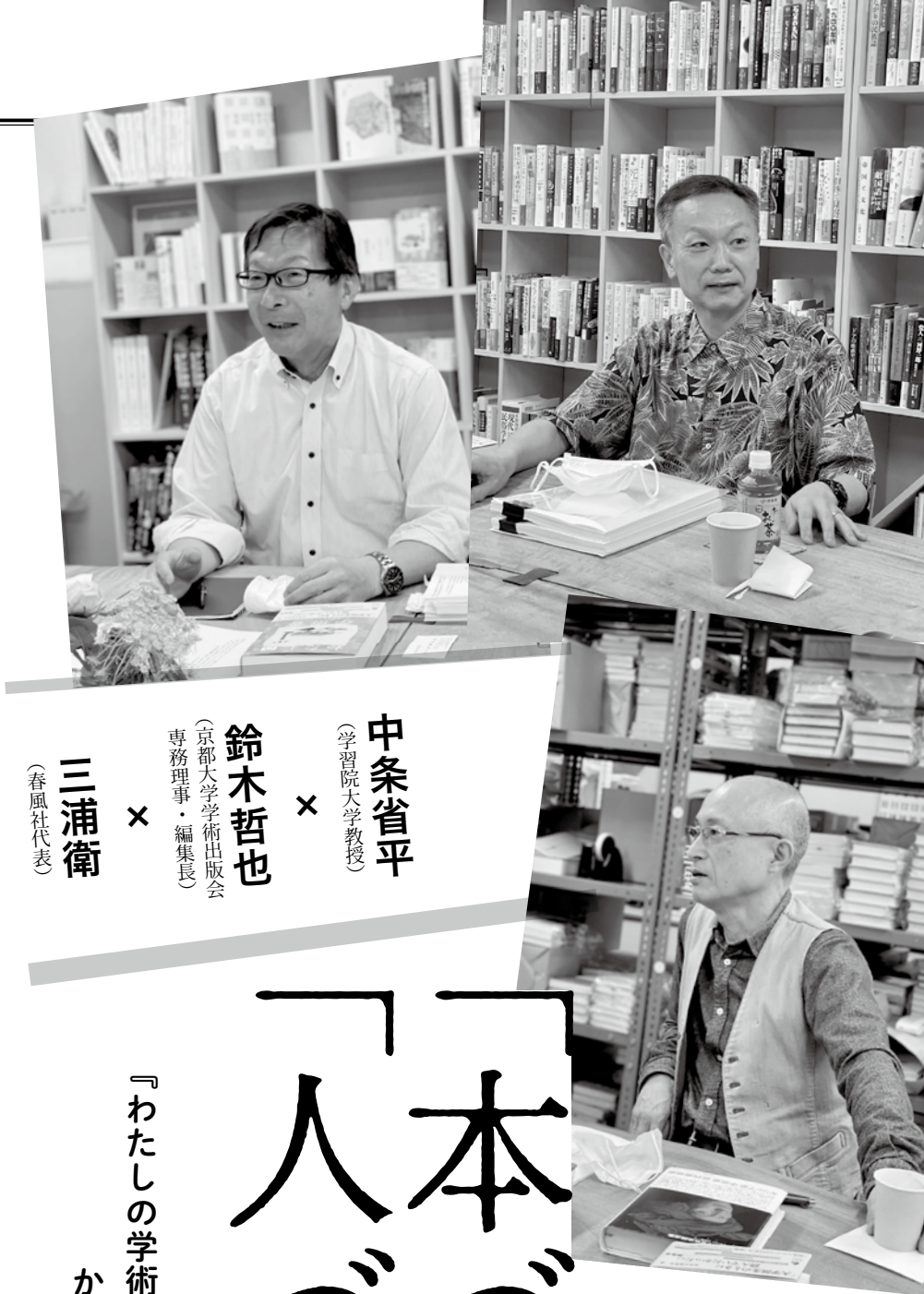
ことば

『新井奥達著作集』二巻三二〇頁

『おうすいポケット 新井奥達語録抄』四六頁より

絵  
『ゴザウ谷にて』(一八三四年)





中条省平  
(学習院大学教授)

鈴木哲也  
(京都大学学術出版会  
専務理事・編集長)

三浦衛  
(春風社代表)

## 鼎談

# 「本づくりに人づくりに」

『わたしの学術書——博士論文書籍化をめぐる』  
から見えてくるもの



すごく驚いた。  
もう一つは、鈴木さんの問題提起によつてはつきりと出てきているとおり、研究というのは狭い、でも狭くなければ掘っていくことはできないわけです。その狭い研究が広い社会に訴えるような力そのまま研究の価値を妄信していたらタコソボで終わってしまうが、「自分のやつていることにも意味があるんだ、じゃあ、その普遍的な意味は何だろう」ということをみんな考えているところがすごく感動的なんです。タコソボに閉じこもる研究が多い」とよく言われるけれど、少なくともここに寄稿している人たちは、「自分がやつていることはタコソボだ」と知りつつも、「それを社会に拡げていきたい」という欲求がある。自分の研究を社会に開こうと思つてもなかなか開かれないけれど、むしろ社会そのものの側も研究に開いていかなければならぬ。それを支える実践的な営みが学術書出版だと思つし、それが、鈴木さんがおつしやつている、「二回り三回りの読者に」ということの意味だと思つてます。

## プロセスは 点数化できない

鈴木 つい最近に起きたある出来事から、私はこの本をすごく重く読みました。と

出せば一点『B出版社は五点』としたらどうか」というようなことですね。諸外国にはすでに見られる制度だというけれど、真面目に考えれば、実に難しく適切な欠ける。例えば、一点、五点というなら、そこにはベースになる評価基準があるはずですが、でも実際、本に向ける評価は、読者の関心の文脈でさまざまです。また刊行に至る時間も、研究によつて相当に違う。『わたしの学術書』でいえば、本にするまで長い方で「二二年」という場合もありましたが、それくらい長いものもある。つまり研究の「時間コスト」は、領域や課題によつてまるで違います。コストが違うものを単純な点数化、つまりでき上がったものに一点、二点と点数をつけることで測るのは不可能です。価値を決めているのは研究も出版もプロセスなので、「プロセスを点数化できますか？」という話なんです。その点で、プロセスとしての研究、プロセスとしての出版の在り方がこの本の中では一人称で表現されている。おそらくこれまで我々はそういった「研究を伝える物語」「研究の意味を伝える物語」を書けていなかった。出版社の格付けで学術書の価値を測るなんて議論が起ころるのもそこに原因があったのかも知れない。だから、この本は、「研究評価」なるものを真面目に考えるその第一歩になると、強く強く思いました。

ともかく、「よくまあ、こんなつまらないことに情熱を注ぐ人がいるな」という驚きがまずありました。ただこの「つまらない」というのは、私がわからないというだけのことです。逆に言うと、自分ではそれなりに読書とかいろいろやつたように思うんだけど、実は自分がいかに狭い領域の存在であるか、知的関心が限られているかを痛感させられました。かつ、この本がおもしろいのは、そういうトリビアルなことが知的で客観的な情報としてではなく、主観的な体験、ライフヒストリーとともに語られていることです。そうすると、「そういうトリビアルなものに魅せられる人間の不思議さ」というか、ジャン・フィリップ・トウサンが小説『浴室』で、「いろいろな人がいるんですけど」という決めフレーズを書いたけれど、本当にいろいろな人がいる。物語、小説になってしまふようなものを一人ひとり備えていることに、まず

つしやいますね。

鈴木 そうですね。今日の話の中心は学術書ですが、出版全体もそうだし、もつと言えば世の中全体なかなか対話ができない中で、「だれに向けて、何を伝えよう」ということはすごく大事になっています。「自分とはちよつと違う、けれど、わかつてほしい」という人たちに對してもものを言うには、それなりの技法と作法が必要なんです。今回、拝読して、そのあたりが非常によく表れていると思いました。

中条 この本を読んで、しゃれた言葉を用いるなら、「知の多様性」に驚きました。くだいていえばトリビリア性、つまり「他人から見たら、何のおもしろみもないような事柄を突つついて、突つついていく」、そういうことに情熱を注ぐことのごさ。そういうトリビリア性みたいなものに突つ込んでいくことに対し、多くの人は揶揄するわけですけど、でも、「本気で突つ込んでいくと、とんでもないところに出るんだよ」という、いわばトリビリア性が普遍性につながるこ

二〇二二年四月に刊行した、五八名の著者による博士論文書籍化体験記エッセイ『わたしの学術書——博士論文書籍化をめぐる』。研究との出会いや、博論執筆から書籍化の道程、その後の展望などが綴られる本書をめぐる、鼎談を行いました。

## トリビリア性は 普遍性につながる

三浦 『わたしの学術書』についていろいろ思うところ、感想をお聞かせいただければ幸いです(本紙6頁に本の紹介)。

まず、学術書をつくるという点において、鈴木さんが『学術書を書く』(京都大学学術出版会、二〇一五年、高瀬桃子氏との共著)で書かれた、「二回り三回りの読者に」についてお聞きしたいです。

鈴木 私は常々、著者たちに、だれに向けて書くかをまず最初に設定しましょうと言っています。普通、編集者は「わかりやすく書け」みたいな言い方をするんで

すが、この言い方は具体的に「だれに對して、何を伝えるのか」を全く表現していないので大嫌いなんです。自分の学生、学者や仲間内に対してならジャーナルや紀要に書いたりすればいいわけですが、「研究室、あるいは学部で、ちよつと隣り合わせで、自分とは違うことをやつているんだけど、自分に關係が深いかもしれない」くらいの方々に対して、自分の仕事のおもしろさを伝えるように書くと、ちよつどいい按配の本ができますよ、と、ずつと言つてきました。

三浦 『わたしの学術書』でも、橋本憲幸先生(教育哲学・国際教育開発論)が「二回り三回り外の読者に」について書いていら

わばトリビリア性が普遍性につながるこ

のを一人ひとり備えていることに、まず

たのです。つまり、『A出版社から本を

てぜひ聞かせてください」と言つてきま



した。

この中で、水野剛也先生（歴史学）が、博論の執筆と書籍化の違いについて、「マラソンにたとえれば、前者は仲間内の記録会、後者は公式の大会」と書いていました。鈴木さんが「研究も出版もプロセスだ」とおっしゃいましたが、論文を書くことと、一冊の本としてまとめていることは、また別の次元の体験になっていると改めて感じました。

**中条** 数量化、点数制の話聞いて、愕然としています。要するに、そういう全く根拠のない、抽象的な知に対する考えが、ごく普通に官僚の間で流通してしまっていることは、ものすごい恐怖ですよ。

**鈴木** 官僚というよりは学者の間で流通しているのが驚きました。そうなるべくと、中条先生が先ほどおっしゃった、研究を社会がどう見るかという問題、つまり、研究を社会に伝えても果たして社会が研究を受容するのか、というのはすごく重要な問題です。そこを変えないといけない。研究というのは、なかなか点数では測れないものであることを、まさに、こういう本、あるいは一冊一冊の作品を通して、私たちが伝えていかなければならないと思うんです。

**中条** 私は「紙の本の重要性」についても考えさせられました。石黒武人さんという異文化コミュニケーション専門の方が、「本の感覚、手触り、レイアウト、フォント、紙の質感にもすごくこだわって仕事をしている」ということを書かれているじゃないですか。論文を知の抽象的な結晶だと考える人は、「紙は要らない、データでいいよ」、あるいは「本の形じやなくても、プリントしたものをバインドすればいいよ」という話になってしまふと思うんですけど、本当はそこに留まるものではない。本を手づくりすることの意義が、この本では語られている。これは「本づくり」についての本でもありますよ。

「本づくり」というのは、つまり「論文を本にする」という抽象的なことではなくて、「紙を何にするか」「デザインをど

うするか」ということです。「データで送ってください」みたいなデジタル主義へのアンチテーゼが、この本全体に貫かれている。もともと「データでいい」と思っていた人たちも、春風社と仕事をすることによって、「デジタル性の危険」みたいなものに気づいていく過程が結構たくさんあります。『対談集 春風問学』（春風社編集部、二〇二二年）で、鈴木さんは、電子化は便利だけれど知の狭隘化を引き起こす、とおっしゃいました。デジタル化は知にとつて便利だけれど、意外と危険なものであることが（『春風問学』一五三頁）、逆に紙の本から浮かび上がってくるんです。

奥田若菜さんというブラジルで文化人類学をされた方が、恩師の言葉として、「人間は頭で考えない、手で考える」と書いておられました。三浦さんが以前おっしゃっていた「デジタルは頭で読むけれど、本は手で読む」という持論が、奥田さんの恩師のその言葉と通じ合っているようでした。

あと、「博士論文を本にすると、学術研究者としての名刺になる」という言葉が出てくるけれど、名刺より大きい「パスポート」でしょう。それは「国家のお墨付き」という意味ではなくて、「越境のための道具」です。本が何かを越境して行動するための一つの道具になるんですね。博士論文を本にすることは完結ではなくて、むしろ新たなフェーズへの移動の始まり。多くの人がそうおっしゃっています。

**鈴木** 「越境のための道具」というのは非常に大事で、この中で、きわめて印象的だったのが、「縁」という言葉を書いている先生が非常に多いことです。その「縁」は二つあって、一つは「他者との縁」、つまり自分以外のものとの縁。もう一つは「自分の中の縁」で、「一度自分が持っていた問いをもう一度問い返す」ことを、本をつくることによってやっている。

林信蔵先生（日仏比較文学）が「もう一度博論を書く」という表現をされていました。まさにそれで、書籍化するとい

うことは、さきほどの「越境」の機能を得ると同時に、その行為自体が「自身を問い返す営み」なんです。学術成果として出すことだけではなくて、「自分が書いてきたこと、考えてきたこととは何だろうか」ということを、他人に伝える「こと自体を一つの目的にして、もう一度自分の研究を省みることができて、それを「過去の自分にもう一度出会う」として捉えようと、本をつくる作業は、他者との縁だけではなくて、自分の中の縁が結ばれることだと思いました。

## 学術書の世界に 糶でもらう

**鈴木** 若い研究者も、今まさに点数主義の中で育っている。だから、博論一般を見ると、「大きな問いがない」と思う。そうした中で、「本を書こう」という瞬間に、自分の問いにもう一度向き直す方、それを広げる方がいるのはとても嬉しいです。そもそも本を書こうとしない研究領域もあるわけですが、そうなるこの本に書かれているような体験ができないことになり、まさに物語が紡げないと思うんです。それは理系の方に多い。環境問題にしても、心の問題にしても、最近は理系の方がどんどん発言するようになっていきました。そういう人たちが研究の物語を語ってほしいんだけど、語らないから、彼らがテレビに出て、CO<sub>2</sub>の問題やプラネタリー・バウンダリーについて論じて、なかなか響かない。データときれいなCGだけで示されても、心にガツンとこない人間は動かない。そういうことが、この本を読んで、実によくわかりました。雑誌論文中心の時代に本を書く人たちに、もつと活躍してほしいと思います。

**三浦** たとえば、石川文也先生（言語学）が、今回の寄稿に関して、これまでの仕事を振り返る機会を与えてくれた、と書いてくださったたり、芳賀理彦先生（比較文学）

が、二冊目の著作を春風社で刊行したい、と結んでくれたりして、学術書をつくる出版社の役割を考えさせられました。**中条** まさにそれがこの本のもう一つの主題です。書く側の人の物語も当然語られているんだけど、さきほど鈴木さんが「縁」とおっしゃった、その縁を形成しているのは、やはり編集なんです。しかも、この本の特異なところは、編集が機能ではなくて人間の形をとつて現れている、「〇〇さん」というふうに固有名詞を持つて出てきていることなんです。「いろいろな人が暗躍して本をつくつていく」という過程で、機能ではなくて「つながり」ということを書かれている方もいた。中国の少数民族を研究されている金繩初美さんの書籍タイトルは、『つながりの民族誌』です。まさに「つながり」によって、もうちよつと格好よく言えば、人と人とのネットワーク、抽象的な機能ではない具体的な人間関係の中で本がつけられていくということがよくわかる。本を知らない人は、原稿があつて、それを機械の中に入れて本が出てくる、みたいに思っているかもしれないけれど、とんでもない。人間と人間のやりとりが本を支えていることがわかりますし、それは感動的でもあります。

**三浦** 研究にはそれぞれの物語があつて、編集者が、それを集め、選び、紐で結わえていく、みたいなイメージを僕はもっています。この本を読みながら、そのことを改めて考えました。「学術書の世界に糶でもらう」。「糶でもらう」とは（僕の出身の）秋田弁で、つまり学問の世界の「仲間に入れてもらう」こと。これを読んでいると、みんなライフヒストリーを語りながら、キザに言えば、幸福への希望がそこに籠められていると感じました。「なんで学問をするの？」と問われたら、「きょうよりもあつた、あつたよりもあつた」と「その先」を希求していきたい。

幸福に向かうような学問の世界の仲間に入れてもらいながら、ディレッタントに甘んずる。「ディレッタント」は、肯定

的な意味よりも、ちよつと否定的なニュアンスで使われることが多い言葉だと思ふんです。けれども、専門性をあくまで尊重しつつ、学問なり、芸術なりを愛好する、楽しむ、というような意味があるわけです。「甘んずる」も、あまりいい意味では使われないけれど、もともとは古語の「甘みする」、甘い味を楽しむ。本来は否定的な意味じゃないんです。だから、「ディレッタントに甘んずる」。そういう気持ちで「学術書の世界に糶でもらう」のが、学術書の出版社なり、編集者かなと思います。

## 対話ができる 研究世界をつくっていく

**鈴木** 「ディレッタントに甘んずる」の話で言えば、「対話型専門知」ですよ。名古屋大学出版会から出版された『専門知を再考する』（日・コリンズ、R・エヴァンズ、二〇二〇年）に「対話型専門知」という言葉があつて、「ああ、これだな」と思つたんです。これからは専門家たちは、自分の世界だけじゃなくて他の世界を理解して、そこに対して言葉を伝えられることが一番大事なんじゃないかと。コリンズの言葉を使えば「貢献型専門知」がまず学者として生きる前提として必要なんだけれども、その前提のうえに、他の全然違う分野の人たちと、お互いにリスベクトしながらしつかり話ができる、そういう力があるんじゃないか。

そういう力をつけるためには相当の訓練が絶対に必要です。でも、それは個人的な訓練なのかというところではなく、「集合的」なものなんです。著者の先生、それを担当する者、それに関わる全てのスタッフという集合的な経験と学びの中で、対話の力はいくつ。そういう「場」を意識的に作る必要があるんです。出版はそうした対話の場を作る一つの軸になり得ます。専門を超えて学び合つたうえで、「ただ知っている」だけじゃなくて、「それはこうだと自分の立場

からは思うんだけど」と対話できるような、そういう研究世界にしなければいけない。今、どんどんタコソコボ化しているからこそ、中条先生がおっしゃったように、社会の側が研究を受け止められなくなつてしまつていきます。出版社はそうした社会の「一角に過ぎない」けれど「重要な一角」でもあります。そこでの人づくりは絶対に必要ですが、私の属する京都大学学術出版会でも上手くいっていない部分もある。たとえば営業と編集の機能がスッパリ分けられてしまつていることなどは典型ですが、そうしたシステムへの再考を促すという点も含めて、この本は人づくりの道具かなと思います。まさに、色々な意味で、「本は人をつくる」ということを語つてくれている本です。

**中条** それで決まりましたね。

**三浦** 「人づくりの本」はいいですね。ありがたいです。五人の先生方の物語を読ませてもらつて、学術書の編集者としては、これからもそれをアシスト、力添えになつていけばいいのかなと思つたんですが、物語というのはなかなか短期で紡ぐのは難しい。今の時点ではこう思うけれど、ひよつとしたら一〇年後、二〇年後にはまた違つて見えてくるかもしれないというよきな感覚で書いている人がいて、それがまたおもしろい。時間の中で醸し出されてくる物語、それはやはり簡単には測れない気がします。

また、学術書の出版社としては本をつくることだけではなくて、こうした鼎談や対談で外に向けて言葉を発信する場所づくりを心がけていきたい。そういう場をつくつていくことで、本の裾野を広げていければいいと思います。

そして僕が今一番感じるのは、学術書が長く読まれていくとしたら、それをプロデュースし、つくり出す出版社が創業者一代で終わつたらまずいということ。時を超える学術書をつくつていく精神を、きちんと次の世代に受け継いでもらいたいと思つています。



# 哲学・思想・宗教

## インターフェイス・スピリチュアルケア

永遠と対話の根源へ  
小西達也 (武蔵野大学教授)

「異なる信仰間の」を意味するインターフェイスな関係性において  
終末期患者への心のケアはいかにして可能か。理論化への真摯な問い。  
四六判並製コテックス装・四五六頁 定価(5000円+税)  
ISBN 978-4-86110-866-2



## 現代の皮膚感覚をさぐる

平芳幸浩 (京都工芸繊維大学教授) 編

デジタル・デバイスが浸透し、ヴァーチャルな空間での活動が増加する現代の表現行為や日々の営為における皮膚感覚、その意義と可能性に触れなす。  
四六判上製・二六四頁 定価(3700円+税)  
ISBN 978-4-86110-849-5



◎各書籍の左下に¥で示している数字は税抜価格です。



## 黙想の鏡に映す イエス・キリストの祝福の生涯

ニコラス・ラウヴ／田口まゆみ (大阪産業大学教授) 訳

聖書の英語訳が禁じられていた時代、聖書に代わる読み物として教会から認められた英語圏における初期最大の聖書物語。本邦初の翻訳。  
A5判並製並製・三四八頁 定価(4000円+税) ISBN 978-4-86110-844-0

### 新版大地の哲学―三位一体の於てある場所

小野寺功 (清泉女子大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-839-6 ¥2200

### 日本の神学を求めて

小野寺功 (清泉女子大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-809-9 ¥2200

### 日常の冒険 ホワイトヘッド、経験の宇宙へ

佐藤陽祐 (中央大学助教)

ISBN 978-4-86110-748-1 ¥3800

### カントとエンカタテニス論

福田喜一郎 (鎌倉女子大学教授)

ISBN 978-4-86110-713-9 ¥5600

### スマホと哲学

岩崎大 (東洋大学東洋学研究所客員研究員)

ISBN 978-4-86110-736-8 ¥1800

### 環境を批評する―英米系環境美学の展開

青田麻未 (群馬県立女子大学講師)

ISBN 978-4-86110-698-9 ¥4000

### 小鳥が歌う―古いポルトガル語による聖母マリアの詩

菊地章太 (東洋大学教授)

ISBN 978-4-86110-694-1 ¥600

### 16世紀後半から19世紀はじめの朝鮮・日本・琉球における(宋)字学―遷移の諸相

片岡龍 (東北大学教授) ISBN 978-4-86110-681-1

¥400

### 死ぬ権利はあるか―安楽死、尊厳死、自殺補助の是非と命の価値

有馬斉 (横浜市立大学准教授)

ISBN 978-4-86110-624-8 三刷 電子版あり ¥4300

### 朝鮮儒学の巨匠たち 韓亨祚

(韓国学中央研究院 教授) 著/片岡龍 (東北大学教授) 監・解説/朴福美 (韓国語教室主宰) 訳 ISBN 978-4-86110-500-5

¥5500

### 「たゞ人間であること」が持つ道徳的価値―相互に尊重し合う自由と平等な個人が築く民主主義

浜野研二 ISBN 978-4-86110-636-1

¥5500

### 論理学 はじめの歩―オライオンとペン図で知る伝統的論理学

菅沢龍文 (法政大学教授)

ISBN 978-4-86110-738-2 ¥1300

### 日本におけるイスラーム研究史―中国篇

アリム・トヘイ (東北大学助教)

ISBN 978-4-86110-632-3 ¥4000

### キルケゴールの美存解釈―自己と他者

河上正秀 (筑波大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-597-5 ¥3500

### 深い河の流れ―宗教多元主義への道

長谷川 (間瀬) 恵美 (桜美林大学准教授)

ISBN 978-4-86110-604-0 ¥2200

### そこには何かある―「この自分」が在るとい

う不思議 牟田隆郎 (元聖学院大学教授)

ISBN 978-4-86110-612-5 ¥1800

### 人間形成としての教養―ハンガリー、フィンランド、日本におけるドイツの理念の受容と将来展望

高橋輝暁 編 ISBN 978-4-86110-596-8

¥2000

### 律から密へ―晩年の慈雲尊者

秋山学 (筑波大学教授)

ISBN 978-4-86110-600-2 ¥5500

## 長谷川宏

# 日々の風

暮らしの中の哲学

## 26 孤独の根深さ

この三月、わが塾恒例の学年末演劇祭で、高校生、大学生、社会人に小学生男子一名を加えたOB・OGの演目は、サミュエル・ベケットの『ゴドーを待ちながら』だった。一九五〇年代に「不条理劇」の名で話題になった作品で、後期高齢者の交じる客席からは昔を懐かしむ声も聞こえてきた。

この劇の作法に反することだ。「不条理劇」とか「アンチ・テアトル」といった呼称が生まれたゆえんだ。その延長線上で、劇評では近代における絶対的存在(ゴッド)の喪失が議論の対象になつたりもしていた。

題名にある「ゴドー」が「ゴッド(神)」につながるの、キリスト教文化圏では容易な連想作用だという。そのゴドーを、一本の木だけが目印の殺風景な道で、素姓の知れぬ年配の二人の男が待っている。ゴドーが神なのか人間なのか、人間だとすればどんな人物なのか、二人は知らない。観客にも分からない。芝居の進行につれて、ゴドーが来るか来ないかも分からないまま、二人がただただ待っているのが分かってくる。待つことそのことが劇の主題のようなのだ。

神と人間とのかかわりの曖昧さに時代の思想性をうかがうという劇の見かたは、わたし一個の経験としても、六〇年前の観劇時にすでに芽生えていたと思うが、今回の観劇ではそれと並んで、ゴドーを待つ二人の男の孤独の深さに胸を衝かれた。待つ二人は必要あつていつしよにいるふうではない。現に、「別れたほうがいいかもしれないね」というつぶやきも出てくる。が、二人に別れる気配はない。別れられないからこそ「別れてもいい」と言っているふうなのだ。いつしよにいたるさしたる理由もなく、別れる理由もなく、しかしいつまでもいつしよにいたる。そこに近代人の孤独の奥深さが見事に映し出されていて、いまを生きている自分もまたこういう孤独を心のどこかにかかえていると思えるのだった。(哲学者)

劇で待つ動作を見せることは、そのあとに特別なこと、いうなら劇的なことの到来を期待させる。その期待を棚上げにして待つ行為を長々と見せる

横超の倫理―ローティ、ハイエタ、シンガーを超えて 谷口隆一郎 (聖学院大学教授) ISBN 978-4-86110-393-3 ¥3333

### カント伝

マンフレッド・キューン著/菅沢龍文・中澤武・山根雄一郎訳

ISBN 978-4-86110-479-4 二刷

¥9000

### 巫者のいる日常―津軽のカミサマから都心のスピリチュアルセラピストまで

村上晶 (駒澤大学講師) ISBN 978-4-86110-558-6

二刷 ¥3500

### 哲学 はじめの二歩

立正大学文学部哲学科編

ISBN 978-4-86110-541-8 二刷

¥1500

### 姿を変えたキリスト―みなヒ子を育てたシンスターたち

菊地章太 (東洋大学教授)

ISBN 978-4-86110-475-6

¥2200

### 但祿と眞備

末木恭彦 (駒澤大学教授)

ISBN 978-4-86110-494-7

¥3500

### 随想 西田哲学から聖霊神学へ

小野寺功 (清泉女子大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-464-0

¥3500

### エコ・ファンタジー―環境への感度を拡張する

ためい 山田利明 (東洋大学名誉教授)・河本英夫 (東洋大学教授) 編

ISBN 978-4-86110-468-8

¥3500

### 越境する哲学―体系と方法を求めて

村上勝三 (東洋大学名誉教授)・東洋大学国際哲学研究センター編

ISBN 978-4-86110-478-7

¥5500

### 死生学―死の隠蔽から自己確信へ

岩崎大 (東洋大学東洋学研究所客員研究員)

ISBN 978-4-86110-438-1

¥3982

### サルトルとマルクス―II

北見秀司 (津田塾大学教授) ISBN 978-4-86110-213-4

ISBN 978-4-86110-214-1 電子版のみ各巻 ¥3333

### リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション

稲垣論 (東洋大学教授)

ISBN 978-4-86110-303-2 三刷

¥2381

## 新井奥邃

新井奥邃著作集(1、4、10巻品切) 工藤正三(新井奥邃先生記念会幹事)・コールドニエル(元福岡女学院大学教授) 共編 各巻 ¥6500

おうすいホケット 新井奥邃語録抄 三浦衛・コールドニエル編 白装紙 ISBN 978-4-86110-454-1 黒装紙 ISBN 978-4-86110-455-8 各巻 ¥2200



### 『方法叙説をめぐる六つの試論』

小林利夫著/徳永雅編

ISBN 978-4-86110-254-7 電子版のみ

¥3619

### シリース

## 幻想と怪奇の英文学

幻想と怪奇の英文学 東雅夫(アンソロジー、評論家)・下楠昌哉(同志社大学教授) 編

ISBN 978-4-86110-404-6 二刷

¥2700

幻想と怪奇の英文学II―増殖進化編

東雅夫・下楠昌哉 編

ISBN 978-4-86110-516-6

¥3200

幻想と怪奇の英文学III―転覆の文学編

東雅夫・下楠昌哉 編/ローズマリー・ジャクスン著/下楠昌哉訳

ISBN 978-4-86110-622-4

¥3700

幻想と怪奇の英文学IV―変幻自在編

東雅夫・下楠昌哉 編

ISBN 978-4-86110-699-6

¥3000





### 〈怒り〉の文学化

テカノ

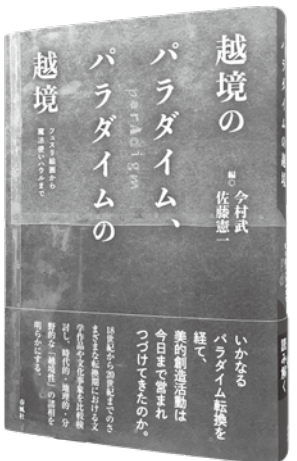
近現代日本文学から〈沖繩〉を考える

栗山雄佑 (佐世保工業高等学校講師)

戦後五十年の節目の年、一九九五年。一月十七日、阪神・淡路大震災。三月二十日、地下鉄サリン事件。そして九月四日、沖縄県民にとって衝撃の事件が起こる。〈怒り〉を暴力として放出するのではなく、文学で昇華させることはできるのか。

四六判上製・四四六頁 定価(42000円+税)

ISBN 978-4-86110-858-7



### 越境のパラダイム、パラダイムの越境

フュスリ絵画から魔法使いハウルまで

今村武 (東京理科大学教授)・佐藤憲一 (東京理科大学教授) 編

いかなるパラダイム転換を経て、美的創造活動は今日まで営まれてきたのか。18世紀から20世紀までのさまざまな転換期における文学作品や文化現象を比較検討し、時代的・地理的・分野的な「越境性」の諸相を明らかにする。

四六判上製・四二六頁 定価(45000円+税)

ISBN 978-4-86110-852-5



### 賢治の前を歩んだ妹 宮沢トシの勇進

山根知子 (フートルダム清心女子大学教授)

宮沢トシ自身の言葉による新資料を読み解くことによりトシの実像に迫り、トシへの賢治のまなざし、兄妹の精神のエコーを聴きとる。

四六判上製・五〇〇頁 定価(45000円+税)

ISBN 978-4-86110-867-9

オースティンとエリオット―深遠なる関係の謎を探る 惣合美智子 (神戸海星女子学院大学名誉教授)・新野緑 (フートルダム清心女子大学教授) 編  
ジョージ・エリオットはジェーン・オースティンをいかに読んだのか。活動時期に半世紀以上の隔たりがある両作家の関係を読み解く。  
ISBN 978-4-86110-863-1 ¥3100

『狐物語』とその後継模倣作におけるパロディと風刺 高名康文 (成城大学教授)  
12世紀から13世紀の北フランスで成立した、狡猾な狐「ルナール」の物語群である『狐物語』とその後継作を、同時代の文学作品や宗教儀礼などに対するパロディに着目しつつ詳解。  
ISBN 978-4-86110-853-2 ¥4500

人形とイギリス文学―プロンテからロレンスまで 川崎明子 (駒澤大学教授)  
19世紀から20世紀のイギリス小説に登場する人形を分析することで、人間と非人間、生物と非生物の境界と関係を吟味し、人間を人間として扱うことの意味を問う。  
ISBN 978-4-86110-845-7 電子版あり ¥3400

ロマン主義的感性論の展開―ノヴァーリスとその時代、そしてその先へ 高橋優 (福島大学准教授) ノヴァーリスを中心とするドイツ・ロマン主義の著作家たちの活動を「感性論」の視点から精読し、現代におけるロマン主義的感性論の意義を捉えなおす。  
ISBN 978-4-86110-835-8 ¥3600

1960s 失踪するアメリカ―安部公房とホール・オースターの比較文学的批評 大場健司 (九州共立大学講師)  
「失踪」を鍵語に、作品群から一九六〇年代の時代相を浮かび上がらせる。「失踪」とは、かけがえない個人になるためのプロセスだ。  
ISBN 978-4-86110-851-8 ¥4500

終わりの風景 辻和彦 (近畿大学教授)・平塚博子 (日本大学准教授)・岸野英美 (近畿大学准教授) 編  
ISBN 978-4-86110-823-5 電子版あり ¥3100

予測と創発―理知と感情の人文学 中村靖子 (名古屋大学大学院教授) 編  
ISBN 978-4-86110-836-5 ¥4500

戯作者の命脈―坂口安吾の文学精神 大原祐治 (千葉大学教授)  
ISBN 978-4-86110-811-2 ¥4000

ジャコモ・レオバルディー―ロマン主義的自然観と〈無限〉の詩学 古田耕史 (早稲田大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-801-3 ¥6000

十八世紀スイス文学とシュトゥルム・ウント・ドラング―源流としての美的共和主義 今村武 (東京理科大学教授) ISBN 978-4-86110-775-7 ¥4000

フォークナーの『サンクチュアリ』再読/改稿―語り手の再編成 岡田大樹 (東京農業大学助教) ISBN 978-4-86110-779-5 ¥3500

森鷗外、創造への道程 小倉斉 (愛知淑徳大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-789-4 ¥5364

自然と人生とのあいだ―自然主義文学の生態学 永井聖剛 (愛知淑徳大学教授) ISBN 978-4-86110-790-0 ¥4291

文学とアヴァンギャルド―ヨーロッパの古典を読む 小川公代 (上智大学教授)・吉村和明 (上智大学名誉教授) 編 ISBN 978-4-86110-755-9 ¥3600

希望の本質―サミュエル・ジーンソンの思想と文学 石井善洋 (広島修道大学教授) ISBN 978-4-86110-776-4 ¥3500

我、アメリカノ敵ヲ発見セリ―ハイムラインの青少年向け小説における白人性 島克也 (安田女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-746-7 ¥3900

漱石論集 二つのゆくえ 斉藤恵子 (大妻女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-763-4 ¥4500

日本英語文化学会創立45周年記念論文集 英語文化研究 日本英語文化学会 編 ISBN 978-4-86110-745-0 ¥4000

ジェーン・オースティンのグロテスクな笑い―困った人々 岡本由恵 ISBN 978-4-86110-731-3 ¥3600

モタニズムの胃袋―ヴァージニア・ウルフと同時代の小説における食の表象 大西祥恵 ISBN 978-4-86110-690-3 ¥2700

異形のビョリタン―ジョン・ウィンスロップ・ジュニアとトランスアトランティック・トランザクション 佐藤憲一 ISBN 978-4-86110-712-2 ¥3900

ブルーロックの世界―T・S・エリオットの限りなく悩めるもの 遠藤光 (実践女子短期大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-672-9 ¥4500

スコットランド文学の深層―場所・言語・想像力 木村正俊 (神奈川県立外語短期大学名誉教授) 編 ISBN 978-4-86110-689-7 ¥3700

American Measure: William Carlos Williams's Vision of Free Verse 吉田亞夫 (京都大学特定講師) ISBN 978-4-86110-732-0 ¥5000

中世英語文学研究の多様性とその展望 菊池清明・岡本広毅 編 ISBN 978-4-86110-714-6 ¥8000

最強の男―三国志を知るために 竹内真彦 (龍谷大学教授) ISBN 978-4-86110-702-3 ¥2000

個から群衆へ―アメリカ国民文学の鼓動 佐久間みかよ (学習院女子大学教授) ISBN 978-4-86110-663-7 ¥3400

神西清の散文問題 小林美 (十文字学園女子大学教授) ISBN 978-4-86110-667-5 ¥3900

ポール・ボウルズ 越境する望の下 外山健一 (山口大学教授) ISBN 978-4-86110-683-5 ¥4500

Shakespeare Performances in Japan: Intercultural-Multilingual Translingual 浜谷恵美 (筑波大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-657-6 ¥5500

救いと寛容の文学―ゲートからフォークナーまで 今村武・内田均・川村幸夫・佐藤憲一 編 ISBN 978-4-86110-654-5 ¥3500

めぐりあうテキストたち―プロンテ文学の遺産と影響 惣合美智子 岩上はる子 編 ISBN 978-4-86110-629-3 ¥3500

村上春樹 精神の病と癒し 南富鎮 (静岡大学教授) ISBN 978-4-86110-652-1 ¥2700

『ハタソン』を読む―ウィリアムズの長篇詩 江田孝臣 (早稲田大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-645-3 ¥3500

ジョイスの拡がり―インターテキスト・絵画・歴史 田村章 (金城学院大学教授) ISBN 978-4-86110-625-5 ¥3500

未完のカミュー―絶える生成としての権と権 阿部こずみ (東北文科大学教授) ISBN 978-4-86110-623-1 ¥3700

D・H・ロレンスと雌牛スーザン W・ティンダール 著/木村公一・倉田雅美・小林みどり 訳 ISBN 978-4-86110-627-9 ¥4000

揺れ動く〈保守〉―現代アメリカ文学と社会 山口和彦 (上智大学教授)・中谷崇 (横浜国立大学准教授) 編 ISBN 978-4-86110-609-5 ¥3500

黙って踊れ、エレクトラ―ホフマンスタールの言語危機と日本 関根裕子 (早稲田大学他非常勤講師) ISBN 978-4-86110-637-8 ¥4200

非在の場を拓く―文学が紡ぐ科学の歴史 中村靖子 (名古屋大学大学院教授) 編 ISBN 978-4-86110-635-4 ¥4100

エミリー・ディキンソンを理詰めで読む―新たな詩人像をもとめて 江田孝臣 (早稲田大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-605-7 二刷 ¥3000

アレゴリーで読むアメリカ/文学―ジェンダーとソックの修辞学 武田悠一 (元南山大学教授) ISBN 978-4-86110-569-2 ¥3500

外見の修辞学―十九世紀末アメリカ文学と人の「見た目」を巡る諸言説 福井崇史 (國學院大学教授) ISBN 978-4-86110-581-4 ¥4000

文学という名の愉楽―文芸批評理論と文学研究へのアンローチ 寒河江光徳 (創価大学教授) ISBN 978-4-86110-595-1 一刷 ¥2200

松本清張の葉脈 南富鎮 (静岡大学教授) ISBN 978-4-86110-557-9 ¥2700

キャサリン・マンスフィールド―荒地を吹き渡る風の自由 手塚裕子 (川村学園女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-553-1 ¥3200

文学都市タフリン―ゆかりの文学者たち 木村正俊 (神奈川県立外語短期大学名誉教授) 編 ISBN 978-4-86110-518-0 ¥3700

カポーティ小説の詩的特質―音と文彩 大園弘 (九州国際大学教授) ISBN 978-4-86110-521-0 ¥3200

スコットランド、一八〇三年―ワーズワス兄妹とコールリッジの旅 安藤潔 (関東学院大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-529-6 ¥2700

帝国と文化―シェイクスピアからアントニオ・ネグリまで 江藤秀一 (常葉大学学長) 編 ISBN 978-4-86110-517-3 ¥3500

パブリック圏としてのイギリス演劇―シェイクスピアの時代の民衆とドラマ 中村友紀 (関東学院大学教授) ISBN 978-4-86110-501-2 ¥3000

プロンテ小説における病いと看護 川崎明子 (駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-427-5 電子版あり ¥3500

秘密のラティガン―戦後英国演劇のなかのトランス・メディア空間 大谷伴子 ISBN 978-4-86110-448-0 二刷 ¥2700

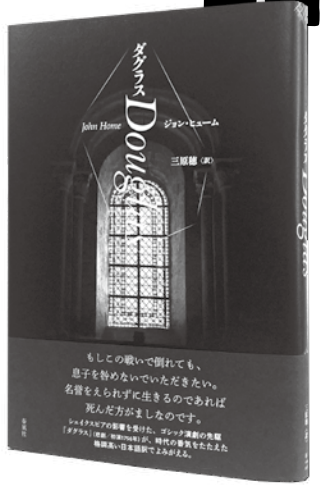
マーガレット・オブ・ヨークの「世紀の結婚」―英国史劇とブルコニコ公園 大谷伴子 ISBN 978-4-86110-419-0 一刷 ¥2700

交錯する戦争の記憶―占領空間の文学 黄益九 (在日コリアン研究所) ISBN 978-4-86110-422-0 ¥3300

カズオ・イシグロ―〈日本〉と〈イギリス〉の間から 莊中孝之 (京都女子大学教授) ISBN 978-4-86110-255-4 三刷 ¥3000

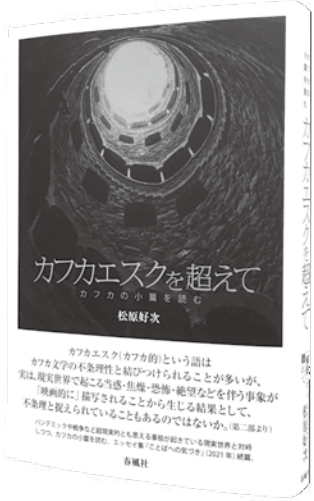


# 小説・詩歌・エッセイ



**ダグラス**  
ジョン・ヒューム著／三原穂 訳  
(愛知県立大学教授)

もしこの戦いで倒れても、息子を咎めないでいただきたい。名誉をえられずに生きるのであれば死んだ方がましなのです。——シエイクスピアからの影響を受けた、ゴシック演劇の先駆『ダグラス』が、時代の香気をたたえた格調高い新訳でよみがえる。  
四六判上製・二六頁 定価(2400円+税)  
ISBN 978-4-86110-833-4



**カフカエスクを超えて**  
カフカの短篇を読む  
松原好次 (元電気通信大学教授)

バンドミミックや戦争など超現実的とも思える事態が起きている現実世界と対峙しつつ、カフカの短篇を読む。エッセイ集『ことばへの気づき』の続編。  
四六判並製・四七頁 定価(3100円+税)  
ISBN 978-4-86110-846-4

わたしの学術書——博士論文書籍化をめぐる

春風社編集部編  
生きてくくなかで「深く学ぶこと」を軸に据え、学術出版社・春風社で博士論文を出版した研究者総勢五八名による、博士論文書籍化体験記エッセイ。  
ISBN 978-4-86110-761-0 二刷 ¥2000

果樹園の守り手 コーマック・マッカーシー著／山口和彦(上智大学教授) 訳  
デビュー作初訳。権力や法の支配を避け、社会の末端で暴力に晒されながら生きる者たちの姿を描く。一九三〇年代米南南部を舞台とした、交差する三人の物語。  
ISBN 978-4-86110-832-7 ¥2500

祇園祭の物語  
小谷野裕子(エッセイスト) ¥2000  
ISBN 978-4-86110-816-7

対談集 春風問学  
春風社編集部編  
ISBN 978-4-86110-768-9 ¥1800

文の風景 ときどきマンガ、音楽、映画  
三浦衛(春風社代表) ¥3500  
ISBN 978-4-86110-749-8

学ゆりかご—母と娘のディスタンス  
春風社編集部編 ¥1800  
ISBN 978-4-86110-743-6

ロバート・フロスト詩集 ニューハンプシャー  
藤本雅樹(元龍谷大学教授) 訳 ¥4000  
ISBN 978-4-86110-715-3

鎌倉山奇譚 水琴窟の館  
ソーントン不破直子(日本女子大学名誉教授) ¥1500  
ISBN 978-4-86110-696-5

ゴマムシ狂騒曲—旅する「小枝通信」より  
堤小枝子(エッセイスト) ¥1500  
ISBN 978-4-86110-697-2

永遠なるカミノー—フランス人作家によるもう一つのサンティアゴ巡礼記 今野喜和人 訳 ¥2500  
ISBN 978-4-86110-674-3

イウの娘 オノレド・バルザック著／宇多直久(元滋賀大学講師) 訳 ¥2100  
ISBN 978-4-86110-628-6

バルザック王国の裏庭から—『リュジエリーの秘密』と他の作品集 宇多直久(元滋賀大学講師) 編訳 ISBN 978-4-86110-544-9 ¥2500

孤独な殿様  
ソーントン不破直子(日本女子大学名誉教授) ¥1500  
ISBN 978-4-86110-617-0

画文集 旅の貼り絵  
安田彰(元亜細亜大学教授) ¥1750  
ISBN 978-4-86110-546-3

鎌倉三猫物語  
ソーントン不破直子(日本女子大学名誉教授) ¥1500  
ISBN 978-4-86110-430-5

クリスマス・キャロル チャールズ・ディケンズ著／井原慶一郎(鹿児島大学教授) 訳 ¥1500  
ISBN 978-4-86110-474-9 三刷

いないも同然だった男 パトリック・ルコント著／桑原隆行(福岡大学教授) 訳 ¥1800  
ISBN 978-4-86110-458-9 二刷

人生の請求書  
石橋幸子(カンナ社代表) ¥1300  
ISBN 978-4-86110-410-7

横浜の時を旅する—ホテルニューグランドの魔法 山崎洋子(作家) ¥1600  
ISBN 978-4-86110-296-7 五刷

中条省平 SHOHEI CHUJO

# 翻訳ピンチ!

30

## 『三十棺桶島』あれこれ その1

いま私が翻訳している作品は、モーリス・ルブランのアルセーヌ・ルパン物の1冊、『三十棺桶島』です。

考えてみれば、ルパンとの付き合いは、もう半世紀以上。小学校5年のころに、少年少女向けのポプラ社版『怪盗ルパン全集』に夢中になったのが始まりです。ただ、この「全集」は、第二次世界大戦前に『吼える密林』などの冒険小説で大人気を博した南洋一郎による大胆なリライトでした。

ポプラ社からは山中峯太郎が翻訳した「名探偵ホームズ全集」もよく似た装丁で出ていて、当時(1960年代半ば)はともに子供向けの本として人気を博し、本屋の棚によく一緒に並んでいました。

私もこのシリーズでルパンとホームズを読み比べたのですが、ルパンのほうが圧倒的に面白いと思いました。変人探偵ホームズの地味な推理に比べて、ルパンのほうはじつにカッコよく、次々に謎の事件が起こって、子供の好奇心をぐいぐい引っぱりまします。

一般的には、ホームズがミステリーとして本格推理の本道で、ルパンは冒険小

説という評価がなされますが、いえいえ、そんなことはない。ルパン物にはたくさんトリックが使われていて、これがけっこう子供を興奮させるのです。

ちなみに、クリスティの『アクロイド殺人事件』(1926年)は語り手が犯人という推理小説史上画期的なトリックで有名ですが、このトリックを最初に考案したのは、モーリス・ルブランでした。のちに短編集『怪盗紳士』に収められる「アルセーヌ・ルパンの逮捕」は、ルパンが史上初めて登場した短編ですが(1905年)、ここで語り手が犯人というトリックがすでに使われているのですね。

さて、小学生の私はルパンという主人公のダンディさと、物語の波瀾万丈、そしてトリックの奇抜さに魅了されたのです。そのルパン物の小説でいちばんショックを受けたのが、『三十棺桶島』という物凄いタイトルの1冊でした。(仏文学者)



イラスト: たけなみゆうこ

鱒 hatatada

三浦衛(春風社代表) ¥2200  
ISBN 978-4-86110-610-1

カメレオン  
三浦衛(春風社代表) ¥2200  
ISBN 978-4-86110-473-2

マハーヴァギナまたは巫山の夢  
三浦衛(春風社代表) ¥1957  
ISBN 978-4-86110-342-1

父のふるさと—秋田往來  
三浦衛(春風社代表) ¥1905  
ISBN 978-4-86110-243-1

出版は風まかせ—おとほけ社長奮闘記  
三浦衛(春風社代表) ¥1300  
ISBN 978-4-86110-193-9

谷川健一全歌集  
谷川健一(民俗学者・歌人) ¥3800  
ISBN 978-4-86110-104-5

突撃! よこはま村の100人—自転車記者が行く 佐藤将人(元神奈川新聞記者) ¥1500  
ISBN 978-4-86110-316-2

瀬戸内、鳥瞰の旅—風景の奥を読む 伊藤松雄(四国学院大学教授) ¥1800  
ISBN 978-4-86110-360-5

# 総記・辞典・事典



都市科学事典  
横浜国立大学都市科学部編  
ISBN 978-4-86110-734-4 ¥25000

コミュニケーション事典 伊藤守・小泉秀樹・三本松政之・似田貝香門・橋本和孝・長谷部弘・日高昭夫・吉原直樹編 ISBN 978-4-86110-538-8 ¥25000

発信型 日本人が使いこなせないフランス基本単語小辞典 久松健一・Michel Gonçalves 編 ISBN 978-4-86110-563-0 ¥2500

フランス語名詞・動詞連語辞典  
石川三千夫(桜美林大学名誉教授) ¥3500  
ISBN 978-4-86110-536-4

スペイン語語源辞典  
太田強正(神奈川大学名誉教授) ¥2200  
ISBN 978-4-86110-332-2 電子版のみ

異文化コミュニケーション事典  
石井敏・久米昭元他編 ¥7600  
ISBN 978-4-86110-333-9 電子版のみ

ニューズランド百科事典  
ニューズランド学会編 ¥9333  
ISBN 978-4-86110-111-3

ダンテ神曲原典読解語源辞典(地獄)(煉獄)(天国) 福島治 ISBN 4-921146-77-2 / 4-921146-78-0 / 4-921146-79-9 各巻 ¥46000

現代日本語モンゴル語辞典 橋本勝(大阪外国語大学名誉教授) / E・プレジヤン 編 ISBN 4-921146-33-0 ¥15000



演劇・音楽・芸術



「新ドイツ派」の成立

リストと彼の仲間たちによる進歩的音楽集団  
上田典子 (静岡文化芸術大学准教授)  
19世紀半ばの音楽ジャーナリズム上で繰り広げられた標題音楽の理念およびベートーヴェンの遺産継承をめぐるいわゆる進歩派と保守派の美学論争を出発点に、19世紀後半のヨーロッパ音楽史における「新ドイツ派」概念の解明を試みる。  
A5判上製・三四頁 定価(4500円+税)  
ISBN 978-4-86110-843-3



レオナルド・ダ・ヴィンチの源泉

様式・文学・人物表現  
田辺清 (元大東文化大学教授)  
イタリヤ・ルネサンスを代表し「万能の人」と称えられた画家の作品を、素描技法や下絵による未完成作または完成作として再検討することで、その創造行為の源をひもとく。  
A5判上製・二〇頁 定価(4000円+税)  
ISBN 978-4-86110-773-3

しりあがり寿

mini 帰ってきた大河 28 裏切りの朝

晴れた朝であった。だが城中の広間には緊迫した空気がはやりつめていた。

「おぬし、寝返ったな」「こんでもいけません」

城主 黒坂鬼房は弟である頼房を謀反の疑いありと問い詰めていた。

「まちがいない。部下がおぬしが寝返ったとはつきり申したのを聞いておる」

「そ、それは…聞き間違いでございませう」「なんと?」

「某は今朝、寝違えたと申したのでございませう」



「何? 寝返ったのでなく、寝違えたぞ!」「はい。ほらこの先は首が回りません。いってこい」

頼房のことを聞いたという部下が前に出た。

「おそれながら、確かに弟君は寝返った、と仰せられました!」

「いや、それはへんな格好で寝返りをうつたので寝違えたと申したのじゃ。」

うわ、これ以上そちらを向くと…いってて」

城主 鬼房は庭の向こうに広がる晴れた空を見ながら、なんだかどうでもよくなっていた。

江戸時代の唐画―南蘋派、南画から南北合派へ 伊藤紫織 (尚美学園大学教授)  
江戸時代中期以降の日本絵画の諸相を、唐画の語に注目して横断的に解き明かす。京都、大坂、江戸の複数の画派に関する検討を行い、その変遷を様式や題材から総合的に捉える。  
ISBN 978-4-86110-857-0 ¥6500

近代市民社会の信仰と音楽―オラトリオは「聖」か「俗」か 瀬尾文子 (国立音楽大学准教授)  
ISBN 978-4-86110-838-9 ¥5000

演劇の公共圏 クリストファー・バルミ著 藤岡阿由未 (福山女学院大学教授) 訳  
ISBN 978-4-86110-806-8 ¥3273

戦後日本の「コミュニティ・シアター」特別でない「私たち」の演劇 須川渡 (福岡女学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-764-1 ¥4500

インド ムガル皇帝の肖像―ムガル細密画の光り輝く世界 宮原辰夫 (文教大学教授) ISBN 978-4-86110-771-9 ¥3500

ナチスと闘った劇場―精神的国土防衛と「ユリイ」劇場の「伝説」 葉柳利則 (長崎大学) 編 ISBN 978-4-86110-719-1 ¥4200

一九四〇年代素人演劇史論―表現活動の教育的意義 小川史 (横浜創英大学教授) ISBN 978-4-86110-717-7 ¥5000

イタリヤ・宝塚・2.5次元―多彩な演劇世界をめぐる 鈴木国男 (共立女子大学教授) ISBN 978-4-86110-737-5 ¥2900

半分満たされたクラス シヤスとシクニファイ インク 椿清文 (津田塾大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-741-2 ¥2400

江戸の黙阿弥―善人を描く 埋忠美沙 (お茶の水女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-706-1 ¥4500

転生する物語―アタプティションの愉しみ 渡辺諒 (元早稲田大学教授) ISBN 978-4-86110-685-9 ¥2500

見る・見せる―中国四川・福建の表演にみる「演じる」こと・人・空間 細井尚子 (立教大学) 教授 ISBN 978-4-86110-671-2 ¥4500

本の縁側 (装丁家・画家) 矢萩多聞 ISBN 978-4-86110-653-8 ¥2800

明治・大正 東京の歌舞伎興行―その「継続」の軌跡 寺田詩麻 (龍谷大学准教授) ISBN 978-4-86110-631-6 ¥8000

ヘルベルト・ブルー・マルクスの庭にて ジャック・レナール 監修 荒井芳廣 (大妻女子大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-594-4 ¥3200

躍動―横浜の若き表現者たち 細見葉介 ISBN 978-4-86110-640-8 ¥1800

浅草2011-2016―六区ブロードウェイ日本人の肖像 初沢克利 (写真家) ISBN 978-4-86110-547-0 ¥7000

すみち 吉住小三代 (長唄吉住会) ISBN 978-4-86110-562-3 ¥1852

石巻片影 三浦衛 (春風社代表 著) 橋本照嵩 (写真家) 写真 ISBN 978-4-86110-530-2 ¥2500

石巻2011.3.27～2014.5.29 橋本照嵩 (写真家) ISBN 978-4-86110-414-5 ¥4500

表象の京都―日本映画史における観光都市のイメージ 須川まり (流通経済大学准教授) ISBN 978-4-86110-537-1 ¥3000

「出合い」という名の劇場―演劇に生きて 岡田正子 (演出家・翻訳家) ISBN 978-4-86110-551-7 ¥2100

母のアルバム 伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授) ISBN 978-4-86110-523-4 ¥1800

父のアルバム 伊藤政子・田中典子 (清泉女子大学教授) ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800

利根川を往く 瑠綺 (写真家) ISBN 978-4-86110-503-6 ¥4800

クジラ解体 小関与四郎 (写真家) ISBN 978-4-86110-261-5 ¥15000

ドアの映画史―細部からの見方、技法のリテラシー 吉田隼 (元京都産業大学教授) ISBN 978-4-86110-264-6 ¥1800

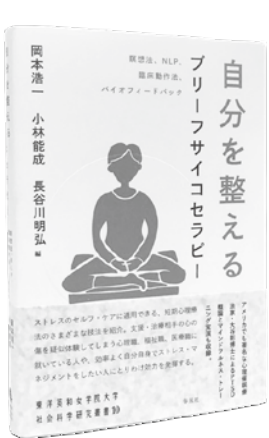
邦訳「カリヴァー旅行記」書誌目録 松菱多津男 ISBN 978-4-86110-276-9 電子版のみ ¥4600

OTHER VOICES 東大全共闘・68―70 平沢豊 ISBN 4-86110-026-7 ¥2800

ペラ・レーヌ・システム 岡田正子 (演出家・翻訳家) 書店での取扱いなし ¥2000

★ご購入を希望される方は、ウェブサイトにまたはお電話にて、①氏名 ②住所 ③電話番号 ④購入部数をお伝えのうえ、お申込みください。

東洋英和女学院大学 社会科学叢書



自分を整えるフリーサイコロセラピー―瞑想法、NLP、臨床動作法、バイオフィードバック

岡本浩一 (東洋英和女学院大学教授) 小林能成 (東洋英和女学院大学准教授) 編  
ストレスのセルフ・マネジメントや、短期心理療法の様々な技法を、短時間で学べる。短期心理療法の様々な技法を紹介。ISBN 978-4-86110-860-0 ¥2500

メデアとしてのミュージアム 町田小織 (東洋英和女学院大学講師) 編 ISBN 978-4-86110-739-9 ¥2500

国際協力の行方―経済・開発・オルタナティブ 吉川健治 (東洋英和女学院大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-646-0 ¥2500

パワハラ・トラウマに対する短期心理療法 岡本浩一・長谷川明弘 編 ISBN 978-4-86110-639-2 ¥2500

世界のメデア―グローバル時代における多様性 小寺敦之 (東洋英和女学院大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-591-3 ¥2500

アジアの国際関係―移行期の地域秩序 福田保 (東洋英和女学院大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-590-6 ¥2500

新時代のやさしいトラウマ治療 岡本浩一・角藤比呂志 編 ISBN 978-4-86110-545-6 ¥2500

EU統合を読む―現代ヨーロッパを理解するための基礎 小久保康之 編 ISBN 978-4-86110-483-1 ¥2500

ネット空間を変えるモバイル社会 東洋英和女学院大学メデア・コミュニケーション研究所 編 ISBN 978-4-86110-444-2 ¥2500

グローバル化とリスク社会 岡本浩一・パトリシア・スイッパル 編 ISBN 978-4-86110-403-9 ¥2500

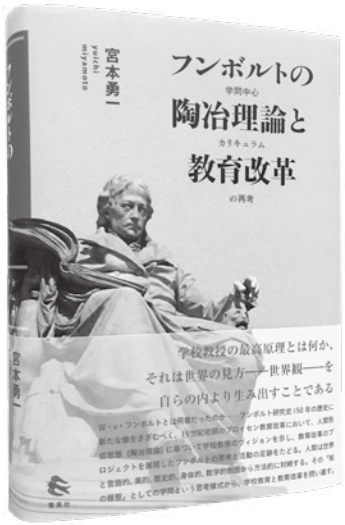




# フンボルトの陶冶理論と教育改革

宮本勇一 (岡山大学講師)

W・v・フンボルトの思想と学校教授の原理を探究。自己と世界の方法的対峙という陶冶のありようから、知の形態としての学問への見方、および学校教育・教育改革を再考する。  
A5判上製・五五二頁 定価(6000円+税)  
ISBN 978-4-86110-842-6



## 討議倫理と教育

丸橋静香 (島根大学教授)

討議という倫理はどのように自らや互いを支えるか。向かい合うもの同士の合意や承認、意のままにならないものへの応答をめぐる関係を、責任や対話実践の問いから解き明かす。  
四六判上製・二八八頁 定価(3900円+税)  
ISBN 978-4-86110-772-6

## 東日本大震災と子どものミシイ

橋本恵司 (教育者)

3・11直後、石巻市内の小学校長に着任した著者の、震災前、以後にわたる四六年間の教育実践記録。止めることのできない教育の営みを考える。  
ISBN 978-4-86110-875-4 ¥2500

## ティーブ・アクティブラーニングのはじめ方

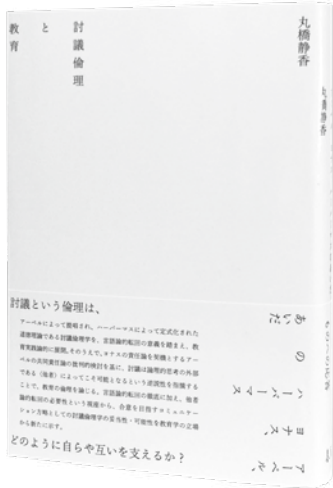
「福井県立大学名誉教授」・早川公(大阪国際大学准教授) 学習者自身が多角的に問題を解決できるよう、デザイン思考とリーダーシップ・トレーニングの要素を採り入れた方法論を展開する。  
ISBN 978-4-86110-854-9 ¥2200



## ドイツの幼児教育におけるビルドゥング

中西さやか (佛教学准教授)

ドイツの幼児教育の政策動向とそこにおけるビルドゥングという言葉の意味や理念を考察。自らの経験を理解し意味づけていく、幼児期に特有な学びのプロセスを描く。  
四六判上製・二四四頁 定価(4000円+税)  
ISBN 978-4-86110-868-6



## コトのデザイン—発想力を取り戻す

谷内真之助 (Safology 研究所)・山川修 (福井県立大学名誉教授) ことからの仕組みや関係性を、学習者自身が複層的に構想していく方法を提案。アイデアを生み出し表現するプロセスを培う楽しさとその多様な意義をあらわす。  
ISBN 978-4-86110-855-6 ¥2500

## 留学のための異文化トレーニング—知る、共に学ぶ、実践する

勝又恵理子 (青山学院大学准教授) カルチャリーショックなどに適応するために、渡航前、留学中、帰国後の各段階で行うべき異文化トレーニングの理論とその実践法を紹介。  
ISBN 978-4-86110-840-2 ¥3000

## 社会教育における生活記録の系譜

新井浩子 (帯業大学講師)

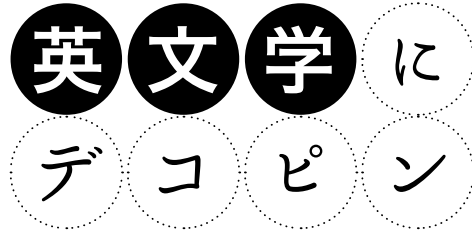
戦前戦後の日本各地の生活綴方・生活記録実践の展開を検証。書き合い読み合うことの学びの系譜を解き明かし、生活を書く・読むという行為による表現や経験を顧みる。  
ISBN 978-4-86110-822-8 ¥4500

## インクルーシブ教育のかたち—都道府県ごとの特別支援教育の違いから

柴垣登(右専大教授) ISBN 978-4-86110-821-1 電子版あり ¥3600

エンパワーメント・キャンプ—主権者になる資格のない子などいない M・レヴィンソン 著/渡部竜也・桑原敏典訳 ISBN 978-4-86110-819-8 ¥4500

## 阿部公彦



### 17 大江さんのネクタイ

先頃亡くなった大江健三郎さんは、早くから「世界文学」的な広い視界をお持ちだった。東京大学の仏文科の卒業生として仏文学に馴染んでいたのはもちろん、英語、スペイン語、中国語など広範囲の言語圏の文学に通暁していた。しかし、それだけ広い視界を持ちつつ、「身近なもの」も大切にしていた。  
強く記憶に残った出来事がある。2007年5月28日、東京大学の安田講堂で大江さんによる「知識人になるために」という講演が開催された。安田講堂はぎっしりと聴衆で埋まった。文学界の長嶋茂雄と言われるだけあって(というより長嶋茂雄さんが「野球界の大江健三郎」なのかもしれないが)、大江さんの講演は爆笑につぐ爆笑で、華のあるものだった。講演の後、私は国文学の安藤宏さん、中国文学の藤井省三さん、仏文学の野崎敏さんとともに壇上にのぼり「一人一つだけ質問をする会」に参加する予定だった。  
しかし、今、書きたいのはイベントそのものではない。実は講演に先立ち、私たち「壇上質問者」は、ステージ

脇の楽屋で大江さんをお迎えすることになっていた。大江さんはやや遅れて息を切らしながら現れると、いきなり鞆をごそごとあけて——その手つきはたいへん忙しいものだったが——そこから一本のネクタイを取り出したのである。青いものだった。  
「妻がね、これを忘れちゃいけないっていうんでね」  
そして器用とは言い切れない手つきでネクタイを結び始めたのである。大江さんを待つ私たち「一人一つ質問集団」は、どことなく硬かった。少なくとも私は。ネット上の写真を見ると、一張羅のスーツを着ている。もちろんネクタイもあり。でも、大江さんのあのドタバタは、とくにあそこでネクタイを結ぶという儀式は、そんな硬直にちょっとした「近さ」を導きこんだ。あのネクタイのおかげで場はすっかり和んだのである。私にはまねが出来ない。人前でネクタイを結べるようになるにはまだまだ修行が足りないなどと思う。  
(英文学者)

日本語教師の省察的実践—語りの現象学的分析とその記述を読む経験 香月裕介 (神戸学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-760-3 ¥4500

学校と生活を接続する—ドイツの改革教育的な授業の理論と実践 田中怜 (筑波大学助教) ISBN 978-4-86110-766-5 ¥4200

言語教師教育論 B・クマラヴァイヴェル著/南浦涼介・瀬尾匡輝・田嶋美砂子訳 ISBN 978-4-86110-759-7 ¥4000

自律を目指す教育とは何か—自然主義的な教育哲学の試み 宮川幸奈 (熊本学園大学准教授) ISBN 978-4-86110-767-2 ¥4000

レヴィナスと教育学—他者をめぐる教育学の語りを読み直す 安喰勇平 (神戸市外国語大学講師) ISBN 978-4-86110-765-8 ¥4000

学校づくりの概念・思想・戦略—教育における直接責任性原理の探究 石井拓児 (名古屋大学准教授) ISBN 978-4-86110-758-0 二刷 ¥4000

正しい評価—テストと教育評価の新しい科学に向けてハロルド・バラック 他著/渡部竜也(東京大学准教授) 他訳 ISBN 978-4-86110-756-6 ¥5000

野村芳兵衛の教育思想—往相・還相としての「生命信順」と「仲間作り」 富澤美千子(横浜美術大学教授) ISBN 978-4-86110-750-4 ¥3630

外国につながる児童生徒の教育と社会的包摂 柿原豪 (聖マリアンナ中等高等学校教諭) ISBN 978-4-86110-751-1 ¥3600

学問としてのダンスの歴史の変容—ウィスコンシン大学マティン校のダンスの100年 木場裕紀 ISBN 978-4-86110-757-3 ¥4000

教室における政治的中立性—論争問題を扱ったために ダイアナ・E・ヘス著/渡部竜也・岩崎圭祐・井上高善監訳 ISBN 978-4-86110-718-4 三刷 ¥4500

19世紀フランスにおける女子修道院寄宿学校 山内由賀 (京都橋大学講師) ISBN 978-4-86110-735-1 ¥3600

「共生社会」と教育—南アフリカ共和国の学校における取り組みが示す可能性 坂口真康(兵庫教育大学講師) ISBN 978-4-86110-726-9 ¥5400

教育のリーダーシップとハンナ・アーレント ヘレン・M・ガンター 著/末松裕基・生澤繁樹・橋本憲幸訳 ISBN 978-4-86110-704-7 ¥3000

〈障害者〉として社会に参加する—生涯学習施設で行うあらゆる人の才能を生かす試み 三谷雅純 ISBN 978-4-86110-703-0 ¥4000

とらわれからの解放 芦田恵之助の教育思想—とらわれからの解放をめざして 山田直之(関西大学准教授) ISBN 978-4-86110-688-0 ¥4000

人生の意味を問う教室 ネル・ノディングス著/井藤元小本曾由佳訳 ISBN 978-4-86110-668-2 二刷 ¥3000

多様化する子どもに向き合う教師たち—継承語教育・補習授業校におけるライブストーリー研究 瀬尾悠希子 ISBN 978-4-86110-693-4 ¥3300

空海に学ぶキャリアデザイン 益田勉(文教大学教授) ISBN 978-4-86110-705-4 ¥3500

移動する女性たち—海外の日本語教育と国際ボランティアの周辺 平畑奈美(東洋大学教授) ISBN 978-4-86110-638-5 ¥3241

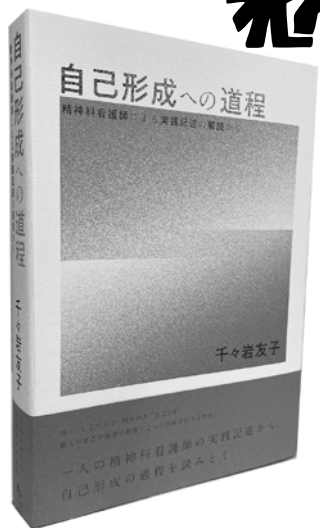
共同体による自己形成—教育と政治のプラクティズム(生澤繁樹) (名古屋大学准教授) ISBN 978-4-86110-641-5 ¥5500

主権者教育論—学校カリキュラム・学力・教師 渡部竜也(東京大学准教授) ISBN 978-4-86110-648-4 二刷 ¥4500

「エンタンス」に基づく教育の闘いを探る—教育学における規範と事実をめぐって 杉田浩崇・熊井将太編 ISBN 978-4-86110-658-3 電子版のみ ¥3700



# 言語・心理



## 自己形成への道程

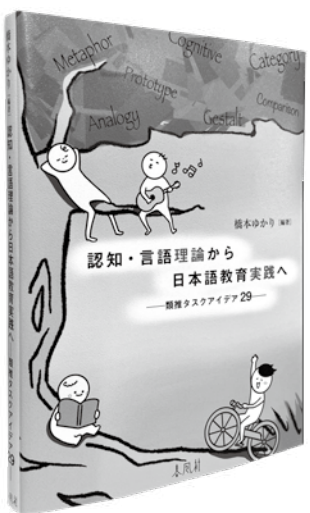
精神科看護師による実践記述の解説から

千々岩友子 (福岡国際医療福祉大学教授)

個と個が殺をもつて小突きあう、ストレス社会において、強く、しなやかで、開かれた「自己」はいかにして形成されるのか。それは個人の意志または他者の教育によって成しうるものなのか。一人の精神科看護師の実践記録から、その過程を読みとく。

A5判上製・二九六頁 定価(4500円+税)

ISBN 978-4-86110-873-0



## 認知・言語理論から日本語教育実践へ

類推タスクアイデア29

橋本ゆかり (横浜国立大学教授) 編著

日本語教育の現場における理論と実践の橋渡しをめざす、初学者向けテキスト。前半は認知言語学から第二言語習得メカニズム、学習者特性まで、基礎的知識を網羅的に説き、後半では、使用する認知能力ごとに考案した29のタスクゲームを紹介する。

A5判並製・二〇〇頁 定価(1800円+税)

ISBN 978-4-86110-874-7

## 言語環境から考える日本の言語環境

ダニエル・ロング (東京都立大学教授・斎藤敬太 (跡見学園女子大学講師) 看板、幟、店のメニュー……。日本各地でのフィールドワークを通して撮影・収集した「言語景観」から、多文化共生が進む日本の言語環境を鳥瞰する。

ISBN 978-4-86110-793-1

## 記憶のなかの「碧南方言」―語彙・語法・音韻の特徴

石川文也 (立教大学教授)

愛知県西三河に位置する碧南市のこぼれを、地元での聞き取り調査によって克明に記録。生きた用例から言語の特徴を明らかにする。

ISBN 978-4-86110-807-5

¥1800

小学校英語に児童文学を―絵本・ナーサリーライム・ストーリーテリングの世界に遊ぶ  
吉田真理子・佐藤佳子・執行智子  
教室で本物の文学作品に触れることは、子どもが多解釈、多モードの発信を促し英語習得を助ける。背景知識と授業例も紹介。

ISBN 978-4-86110-733-7

¥2000

## 英米人名語源小辞典

エリック・パトリック著／吉見昭徳(明治学院大学名誉教授) 編訳

英語圏で使われる約一八〇〇の人名を収録。ギリシア語、ラテン語、ヘブライ語、ケルト語などをたどり、その語源を解明する。

ISBN 978-4-86110-673-6

電子版のみ ¥3000

## 日本語学習者の読解ストラテジー―要点関係図の効果を探る

田川麻央 (明海大学講師)

非日本語ネイティブの日本語学習者が「語の意味は分かるが文章の意味は分からない」という状況に対して、有効に機能する読解ストラテジーを認知心理学的な視点から提示する。

ISBN 978-4-86110-707-8

¥4400

## おしゃべりなボライトネス―会話の中の共話・話題交換・笑い・メタファー

笹川洋子 (神戸親和女子大学教授)

性別や言語文化圏が異なる人物どうしの会話におけるボライトネス(丁寧な振る舞い)を豊富な具体例をもとに分析対人関係を円滑にするための言語的配慮の諸相を探る。

ISBN 978-4-86110-642-2

¥3500

## 神奈川県の方言アクセント―小田原から横浜まで

坂本薫 (國學院大学兼任講師)

ISBN 978-4-86110-670-5

¥3700

## Japanese English: A Descriptive Grammar

Kalwale Waziri Olajoyega (都留文科大学教授)

ISBN 978-4-86110-680-4

¥6900

## 小学校英語への専門的アプローチ―こぼれの世界を拓く

綾部保志 (立教池袋中学校、高等学校教諭) 編

ISBN 978-4-86110-647-7

¥2000

## 英語と開発―グローバル化時代の言語政策と教育

F・サージェント、E・J・アーリング 編／松原好次監訳

ISBN 978-4-86110-471-8

¥3500

## 英語学―現代英語をより深く知るために

菊池清明 (元立教大学教授) 編

ISBN 978-4-86110-513-5

¥1400

## ベトナム語母語話者のための日本語教育

松田真希子 (東京都立大学教授)

ISBN 978-4-86110-491-6

電子版のみ ¥3600

## 第二言語学習と個別性

津田塾大学言語文化研究所言語学習の個別性研究グループ 編

ISBN 978-4-86110-065-9

¥1600

## Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis

鈴木憲夫 (元神戸親和女子大学教授)

ISBN 978-4-86110-114-4

¥7619

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis II 鈴木憲夫 (元神戸親和女子大学教授)

ISBN 978-4-86110-300-1

¥6607

## ジョンソンと「国語」辞典の誕生―十八世紀巨人の名言・金言

早川勇 (愛知大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-399-5

¥2500

## ヘルベルトとティフィナク文字の基礎―タリー・フィート語 (Tarte) 入門

石原忠佳

ISBN 978-4-86110-394-0

電子版のみ ¥4286

## 啓蒙思想下のジョンソン辞書―知の集成を目指して

早川勇 (愛知大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-380-3

¥5000

## はじめての論文―語用論的視点で調査・研究する

田中典子 (清泉女子大学教授)

ISBN 4-86110-349-0

三刷 ¥1800

## プラグマティクス・ワークショップ―身のまわりの言葉を語用論的に見る

田中典子 (清泉女子大学教授)

ISBN 4-86110-073-9

五刷 ¥1800

## 環境心理学―環境デザインへのハイスケケイブ 探究 (実践女子大学教授)

ISBN 4-86110-010-0

一版二刷 電子版のみ ¥2286

The Developmental Process of Japanese Elementary School Teachers Associated with Teaching English while Engaged in Lesson Study 上原明子

ISBN 978-4-86110-634-7

¥45900

## 教育と他者―非対称性の倫理に向けて

橋本憲幸 (山梨県立大学准教授)

ISBN 978-4-86110-614-9

電子版のみ ¥4000

## 大学英語教育の質的転換―学ぶ場から「使う」場へ

佐藤響子・Carl McGary・加藤千博 編

ISBN 978-4-86110-618-7

¥2300

## 正しい学び/学力の高い知をめぐって―学校再建フレッド・M・ニューマン 著/渡部竜也・堀田諭訳

ISBN 978-4-86110-525-8

電子版のみ ¥6200

## 世界初 市民性教育の国家規模カリキュラム

渡部竜也 編訳

ISBN 978-4-86110-490-9

¥4722

## コモン・グッドのための歴史教育―社会的文化的アプローチレヴュースティック、パトーン 著/渡部竜也他 訳

ISBN 978-4-86110-445-9

二刷 ¥6000

## 教育方法改革の理論

助川晃洋 (国士舘大学教授)

ISBN 978-4-86110-578-4

¥2000

## 子どもの〈内面〉とは何か―言語ゲームから見た他者理解とコミュニケーション

杉田浩崇

ISBN 978-4-86110-556-2

電子化予定 ¥3700

絵本から「こども福祉」を考える  
青木文美 (愛知淑徳大学教授) 編

ISBN 978-4-86110-514-2

¥3400

## 居場所―生の回復と充溢のトボス

萩原建次郎 (駒澤大学教授)

ISBN 978-4-86110-566-1

電子版で電子版下版のみ ¥2315

## 留学生の見た漢字の世界―漢字学習への創造的アプローチ

林ささ子・関麻由美・齋藤伸子 編著

ISBN 978-4-86110-568-5

¥1852

## 日本統治下台湾の教育認識―書房・公学校を中心に

呉宏明 (京都精華大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-505-0

二刷 ¥3500

## アメリカ教育福祉社会史序説―ビティンダ・テイチャーとその時代

倉石一郎 (京都大学教員)

ISBN 978-4-86110-416-9

二刷 ¥3000

## 物語が始まるとき―共創教育の現場から

青木幸子 (昭和女子大学特任准教授)

ISBN 978-4-86110-415-2

¥1800

## 労働者・山崎高哉共編

日中教育対話Ⅰ

ISBN 978-4-86110-159-5

¥3200

## 日中教育対話Ⅱ

ISBN 978-4-86110-220-2

¥2800

## 日中教育対話Ⅲ

ISBN 978-4-86110-248-6

¥3200

## 幼児キャンプ―雪の体験

山梨幼児野外教育研究会 監修

ISBN 4-921146-40-3

¥1905

点がしるされた。その後、言語論的転回は空間論的転回、移動論的転回という形でこんにちまで継承されているが、その理論地平はいまなお鳴り響いている。

近年、民主主義の再措定とかかわって、アサンブラージュとかアフォーダンスとかアーティキュレーションといった概念、さらにアクターネットワーク理論が社会理論領域において取り沙汰されている。そこから共通に浮かび上がってくるのは脱主体、より正確に言うと、多重的なアイデンティティにねざす、対他的な相互作用から生じる関係性/集合態である。似田貝氏は、この関係性/集合態の大きさをコモンにもとめていたように見える。日常世界に生きる「ただの人びと」が生活のおりおりにおいて抱く共感や想像力こそ、コモンの基礎をなす共同存在の証になるとみなしたのだ。ちなみに、ポール・コリアーとジョン・ケイは、最近の話題作において、「意識の高い」大義からではなく、日々苦しみや雑感を共有する「本人たち」の自然な交わりから立ちあらわれる関係性/集合態に思いを寄せている(『強欲資本主義は死んだ』)。

考えてみれば、このところ、民主主義と専制主義といったラフなディコトミーが論壇を席捲している。そうした状況を向こうにおいて思い起こされるのは、かつてフランクフルト・スクールの俊英たちが専制主義は民主主義の所産であると喝破したことであるが、民主主義のありようを再帰的に問い込むうえで、コ・プレゼンスのありようを根源的に検証することは避けて通れないであろう。

(社会学者)



# co-presence の時代へ 吉原直樹

## 8 / コモン再論

先日、わたしたちの「輝ける先輩」である似田貝香門氏が亡くなられた。深い喪失感とともに、コ・プレゼンスを「ともに一あること」と定義したことがあらためて思い起こされた。似田貝氏は、コ・プレゼンスをコモン(=共)と同義であるとみなし、所有ではなく存在によって定義されることを強調した(『自立支援の実践知』)。社会理論領域でいうと、こうした議論の嚆矢は、言語論的転回によって切り拓かれたと言ってよい。そこでは特権的な主体を前提としない「話す」という場から社会をみるという理論的起



# 社会・歴史・政治

## ケベックのフェミニズム

若者たちに語り伝える物語

ミシリンヌ・デモン (シエルブルック大学名誉教授 著) / 矢内琴江 (長崎大学准教授 訳)

長年フェミニスト・スタディーズを行ってきた著者が、孫娘に語るように綴ったカナダのケベック州における女性たちの歴史。

四六判並製・三五頁 定価(2800円+税) ISBN 978-4-86110-834-1



## 住宅をめぐる

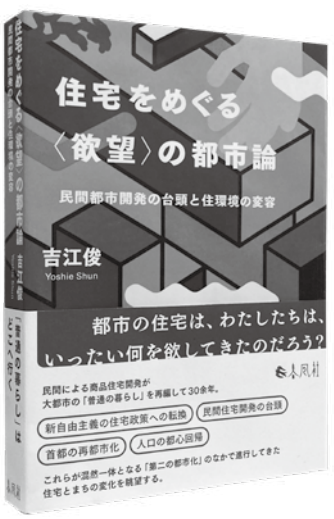
### 〈欲望〉の都市論

民間都市開発の台頭と住環境の変容

吉江俊 (早稲田大学講師)

民間による商品住宅開発が大都市の「普通の暮らし」を再編して30余年。新自由主義の住宅政策への転換・民間住宅開発の台頭・首都の再都市化・人口の都心回帰といった、「第二の都市化」を眺望する。

A5判並製コテックス装・三八四頁 定価(3500円+税) ISBN 978-4-86110-828-0



## デジタル化時代のジェンダー平等

メルケルが拓いた未来の社会デザイン

佐野敦子 (元東京大学特任研究員)

実生活にデジタル技術が浸透するなか、いかにそれを活用すべきか。性別を含む差異の政治から公平性や公正性は生じえるか。メルケル政権期とその前後のジェンダー施策を検討し、平等実現への展望を問う。

A5判並製・二七四頁 定価(3600円+税) ISBN 978-4-86110-859-4



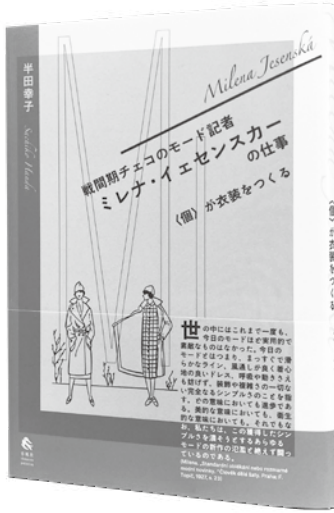
## 戦間期チェコのモード記者 ミレナ・イエセンスカールの仕事

〈個〉が衣装をつくる

半田幸子 (東北大学特任助教)

「カフカの恋人」ミレナによる執筆活動の考察からその思想を明らかにし、激動の一九二〇年代チェコにおけるモードの諸相を概観する。巻末にイエセンスカールによる記事一覧を収載。

A5判上製・四二六頁 定価(4500円+税) ISBN 978-4-86110-865-5



# ポストモダンの処方箋

## 31 テロリズムの時代の幕開け

白井聡

昨年7月の安倍晋三元首相殺害事件以来、日本はテロリズムの時代に入った、と見た方がよさそうだ。本稿を執筆する直前に、岸田文雄首相を狙ったと見られる爆発事件が起こった。犯行の動機や背景はいまのところ全く不明であるが、安倍殺害事件との共通点として「選挙期間中」であったことを強調せずにはられない。そして重要なことには、選挙そのものは全く盛り上がっていないのだ。いま選挙期間中である統一地方選の投票率はせいぜい40%、ここ10年間の国政選挙の投票率は50%前後と、深刻な低迷に陥っている。選挙に対する絶望感が広範に広がっていることと、選挙が暴力の空間になりつつあるという二つの事象に、関連性を見ずにはられない。

政治家たちが「選挙は民主主義の根幹」といくら口にしようが、実態として選挙は機能していない。そのとき、選挙は政治家たちが民衆の前に生身の体をさらす、したがって、テロリストにとって機会を与えるものでしかなくなる。テロリズムの時代の幕開けを印象づけるもう一つの事件は、昨年11月29日に発生した宮台真司氏に対する襲撃だ。犯人が自殺したため動機の解明は困難であるものの、断片的な証拠から、学者・知識人一般に対する強い憎悪を抱いていたと見られる。宮台氏が狙われた理由は、同氏の知名度の高さや勤務先の犯人自宅からの近さであったのではなかろうか。

問題は投票率のみでない。拙著『長期腐敗体制』(角川新書、2022年)にて紹介したが、ある調査の示したところによれば、現代日本の有権者は各党の政策を見ることなく投票しており、かつ習慣的に自民党に投票している有権者がかなりの数にのぼる。こうした社会において、いくら選挙をやっても不毛な結果しか出ようがない。すべての政治理論家の意見が一致してきた点は、民主制の条件は有権者=民衆が合理的判断を下しうる、少なくとも下そうとする意志がある、ということ

ここから得られる教訓は、暴力の噴出は乱反射のように生ずるということだ。山上徹也による安倍殺害は、その動機の理路が追跡可能なものだった。しかし、宮台氏襲撃に理路は見えない。「テロリズムの時代」の空気は、暴力への衝動をかかえたさまざまな主体に作用し、最後の一線を飛び越えさせるよう促す。日本の「戦後」の最終章は、おそらくこうした暴力のランダムな激発のなかで閉じられるのであろう。

(政治学者)



「日常」が制度化するときー日本占領期シヤフにおける隣組 小林和夫 (創価大学教授) ISBN 978-4-86110-788-7 ¥7200

現代日本農業論考 小川真知 (一般財団法人農政調査委員会専門調査員・東京農工大学他非常勤講師) ISBN 978-4-86110-788-7 ¥7200

## 原発災害と生活再建の社会学

なぜ何も作らない農地を手入れするのか

庄司貴俊 (東北学院大学非常勤講師)

農業をやめざるをえなかった人びとの言葉から、原発被災地とは思えない「日常」の真実を探る。酪農家、漁師の事例も調査・研究。

四六判上製・二四〇頁 定価(3000円+税) ISBN 978-4-86110-861-7

「伝統」が制度化するときー日本占領期シヤフにおける隣組 小林和夫 (創価大学教授) ISBN 978-4-86110-788-7 ¥7200

インドネシアの地域社会での奉仕活動ゴットン・ロヨンが、「伝統」慣習として制度化され、同時に住民たちが相互扶助を重んじる「伝統」の実践者へと自らなっていた過程を考察。 ISBN 978-4-86110-824-2 ¥5000

地域発見と地理認識ー観光旅行とホタテの楽しみ方 西脇保幸 (横浜国立大学名誉教授) 国内外への観光旅行や気候な街歩きが、位置・分布などの「地理的視点」を持つことで、より味わい深いものになる。現地調査をもとにまとめた地誌と、旅のスナップ八六一点を掲載。 ISBN 978-4-86110-841-9 ¥3100

聖ヤコブ崇拝とサンティアゴ巡礼 田辺加恵 (立命館大学教授)・大原志麻 (静岡大学教授)・井上幸孝 (専修大学教授) ISBN 978-4-86110-785-6 ¥4000

分かちあう経験・守りあう尊厳ーラスキン・カレッジの九七〇年代における労働者教育 富永貴公 ISBN 978-4-86110-794-8 ¥4500

女子サッカー選手のエスノグラフィーー不安定な競技実践形態を生きる 申恩真 (北星学園大学専任講師) ISBN 978-4-86110-795-5 電子版のみ ¥4000

憲法上のポロリズム宣言 リチャード・D・パーカー 著 池端忠司 (神奈川大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-815-0 ¥3500

フオビアがいつばいー多文化共生社会を生きるため 高山陽子 (亜細亜大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-831-0 ¥2700

「よりどころ」の形成史ーアルセンシンの沖繩移民社会と在沖縄人連合会の設立 月野楓子 (沖縄国際大学専任講師) ISBN 978-4-86110-830-3 ¥3000

石敢當の比較研究ー中国・沖繩・鹿児島・奄美 蔣明超 (泰山学院泰山山研究院) ISBN 978-4-86110-753-5 ¥4200

現代日本農業論考 小川真知 (一般財団法人農政調査委員会専門調査員・東京農工大学他非常勤講師) ISBN 978-4-86110-788-7 ¥7200

聖ヤコブ崇拝とサンティアゴ巡礼 田辺加恵 (立命館大学教授)・大原志麻 (静岡大学教授)・井上幸孝 (専修大学教授) ISBN 978-4-86110-785-6 ¥4000

分かちあう経験・守りあう尊厳ーラスキン・カレッジの九七〇年代における労働者教育 富永貴公 ISBN 978-4-86110-794-8 ¥4500

女子サッカー選手のエスノグラフィーー不安定な競技実践形態を生きる 申恩真 (北星学園大学専任講師) ISBN 978-4-86110-795-5 電子版のみ ¥4000

憲法上のポロリズム宣言 リチャード・D・パーカー 著 池端忠司 (神奈川大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-815-0 ¥3500

フオビアがいつばいー多文化共生社会を生きるため 高山陽子 (亜細亜大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-831-0 ¥2700

「よりどころ」の形成史ーアルセンシンの沖繩移民社会と在沖縄人連合会の設立 月野楓子 (沖縄国際大学専任講師) ISBN 978-4-86110-830-3 ¥3000

石敢當の比較研究ー中国・沖繩・鹿児島・奄美 蔣明超 (泰山学院泰山山研究院) ISBN 978-4-86110-753-5 ¥4200

現代日本農業論考 小川真知 (一般財団法人農政調査委員会専門調査員・東京農工大学他非常勤講師) ISBN 978-4-86110-788-7 ¥7200

聖ヤコブ崇拝とサンティアゴ巡礼 田辺加恵 (立命館大学教授)・大原志麻 (静岡大学教授)・井上幸孝 (専修大学教授) ISBN 978-4-86110-785-6 ¥4000

分かちあう経験・守りあう尊厳ーラスキン・カレッジの九七〇年代における労働者教育 富永貴公 ISBN 978-4-86110-794-8 ¥4500

女子サッカー選手のエスノグラフィーー不安定な競技実践形態を生きる 申恩真 (北星学園大学専任講師) ISBN 978-4-86110-795-5 電子版のみ ¥4000



日本の東アジア投資 100年史

金子文夫 (横浜市立大学名誉教授)

一九一〇年代から二〇一〇年代にかけて日本が東アジアに対して行ってきた投資活動について考察。一〇〇年間の日本―東アジア経済関係の変遷を描き出す。

ISBN 978-4-86110-804-4 ¥3000

アウシュヴィツへの道―ホロコーストはなぜいつから、どこで、どのようにしたのか

永岑三千輝 (横浜市立大学名誉教授)

第三帝国のユダヤ人迫害から大量殺戮に至る過程を、最近の総合的史料集に依拠して再検証を行う。ホロコースト研究における重要書。

ISBN 978-4-86110-805-1 ¥2500

Y専の歴史―横浜市立大学の源流

齊藤毅憲 (横浜市立大学名誉教授)

ISBN 978-4-86110-716-0 ¥2500

イエス運動・マルコ・哲学

三上真司 (横浜市立大学教授)

ISBN 978-4-86110-679-8 ¥3535

教育公務員特例法制定過程の研究―占領下における教員身分保障制度改革構想

高橋寛人 (石巻専修大学教授) ISBN 978-4-86110-650-7 ¥3000

読んで愉しむイギリス文学史入門

白井義昭 (横浜市立大学名誉教授、立正大学教授) ISBN 978-4-86110-372-8 六刷 ¥1500

韓国経済史―先史・古代から併合まで

李榮薫著／須川英徳・加藤裕人・大沼巧訳 ISBN 978-4-86110-782-5 ¥7000

都市を観る―社会地図で可視化した都市社会の構造

浅川達人 (早稲田大学教授) ISBN 978-4-86110-791-7 ¥2700

21世紀型スキルとしての情報社会学―VUCAワールドを生きる人たちのために

天野徹 (明星大学教授) ISBN 978-4-86110-781-8 ¥2800

『リスト全集』の出版

諸田實 (神奈川大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-787-0 ¥2500

立教大学人文叢書

1 人文資料学の現在―

浦野聡他 編著

ISBN 4-86110-063-1 ¥2200

2 文学の基礎(レクシス)

後藤和彦 編著

ISBN 4-86110-087-9 ¥2200

3 肖像と個性

藤巻明他 編著

ISBN 978-4-86110-138-0 ¥2200

4 人文資料学の現在 II

菅谷憲典 編

ISBN 978-4-86110-163-2 ¥2200

5 書簡を読む

桑瀬章二郎 編

ISBN 978-4-86110-194-6 ¥2200

古代文字史料の中心性と周縁性

立教大学東アジア地域環境問題研究所／深津行徳・浦野聡 編著 ISBN 4-86110-067-4 ¥5500

異色の経済学者 フリードリッヒ・リスト

諸田實 (神奈川大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-576-0 ¥2700

ファッションとテクノロジー―英国ウィクトリア朝ミドルクラスの衣生活の姿容

長谷部寿女士 (日本女子大学非常勤講師) ISBN 978-4-86110-762-7 ¥4500

アートとコミュニティ―横浜・黄金町の実践から

山野真悟 (美術作家)・鈴木伸治 (横浜市立大学教授) ISBN 978-4-86110-752-8 ¥3000

老年笑い学―ユーモアで羽ばたけ

小向敦子 (高千穂大学教授) ISBN 978-4-86110-778-8 ¥2400

講義 政治学入門―テモクラシーと国家を考える

宮原辰夫 (文教大学教授) ISBN 978-4-86110-744-3 ¥2200

アジアの海を渡る人々―一六・一七世紀の渡海者

上田信 (立教大学教授)・中島栄章 (九州大学准教授) 編 ISBN 978-4-86110-729-0 ¥5000

文化的に生きる権利―文化政策研究からみた憲法第二十五条の可能性

中村美帆 (青山学院大学准教授) ISBN 978-4-86110-724-5 電子版あり ¥4500

現代民俗学考―郷土研究から世界民俗学へ

佐野賢治 (神奈川大学名誉教授) 編著 ISBN 978-4-86110-708-5 ¥13000

制服ガールの総力戦―イギリスの「女の子」の戦時貢献

杉村使乃 (共立女子大学教授) ISBN 978-4-86110-603-3 ¥3200

社会的システム理論の軌跡―ソシオサイバネティクスとニクラス・ルーマン

赤堀三郎 (東京女子大学教授) ISBN 978-4-86110-720-7 ¥3600

現場に立つから、おもしろい―世界をつなぐひと・モノ・しくみ

江戸川大学現代社会学科 編著 ISBN 978-4-86110-740-5 ¥1800

ナショナリズムの空間―イスラエルにおける死者の記念と表象

今野泰三 (中央大学教授) ISBN 978-4-86110-722-1 ¥3600

カランテル駅―ブラジル最大の刑務所における囚人たちの生態

ドラウジオ・ヴァレラ著／伊藤秋仁 訳 ISBN 978-4-86110-695-8 ¥3600

現代中東における宗教・メディア・ネットワーク―イスラームのゆくえ

千葉悠志・安田慎 編 ISBN 978-4-86110-728-3 ¥2800

先祖祭祀と墓制の近代―創られた国民的習俗

間芝志保 (東北大学准教授) ISBN 978-4-86110-692-7 電子版のみ ¥5000

中央ヨーロッパ―歴史と文学

桂元嗣 (武蔵大学教授) ISBN 978-4-86110-701-6 ¥2800

多文化チームと日本人リーダーの動的思考プロセス―クラウド・セオリーからのアプローチ

石黒武人 ISBN 978-4-86110-687-3 ¥3600

合法性と正当性

デイヴィッド・タイゼン・ハウス著／池端忠司 (神奈川大学教授) 訳 ISBN 978-4-86110-686-6 ¥4100

開発と文化における民衆参加―タンザニアの内発的発展の条件

阪本公美子 (宇都宮大学教授) ISBN 978-4-86110-676-7 ¥4500

江戸の名主 馬込勘解由

高山慶子 (宇都宮大学准教授) ISBN 978-4-86110-666-8 ¥4100

On the Road to the East Asian Community

奥田孝晴 (文教大学教授) 他 編 ISBN 978-4-86110-655-2 ¥6000

反逆者たちのアメリカ文化史―未来への思考

堀真理子 (青山学院大学教授) ISBN 978-4-86110-659-0 ¥2700

統計は力なり―エルンスト・エンゲルの希望の学

太田和宏 (北海学園大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-656-9 ¥3700

ムガル建築の魅力―皇帝たちが築いた地上の楽園

宮原辰夫 (文教大学教授) ISBN 978-4-86110-660-6 ¥3100

基礎的自治体と町内会自治会―行政協力制度の歴史・現状・行方

日高昭夫 (山梨学院大学特任教授) ISBN 978-4-86110-611-8 電子版のみ ¥4200

食から描くインド―近現代の社会変容とアイデンティティ

井坂理穂 (東京大学教授)・山根聡 (大阪大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-633-0 二刷 ¥3700

スイスの謎―経済的空間的秩序

加藤幸治 (国士舘大学教授) ISBN 978-4-86110-585-2 オンデマンド版のみ ¥2700

東アジアの秩序を考ふる―歴史・経済・言語

岩下哲典 (東洋大学教授) 他 ISBN 978-4-86110-574-6 ¥3700

都市の遺産とまちづくり―アジア大都市の歴史保全

鈴木伸治 (横浜市立大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-560-9 ¥3200

素描・杉原千敏

小谷野裕子 (エッセイスト) ISBN 978-4-86110-528-9 二刷 ¥1800

天馬山―北朝鮮からの引揚げ者の語り

浅井亜紀子 (桜美林大学教授) 編著 ISBN 978-4-86110-519-7 ¥2200

難の誕生―難節供に込められた対の豊穡

皆川美恵子 (十文字学園女子大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-439-8 ¥3800

スイスの歴史ガイド

クレゴワール・ナツ・ペイ著／藤野成爾 訳 ISBN 978-4-86110-413-8 三刷 ¥1800

グローバリゼーション、市民権、都市―ヘクシスの社会学

岩永真治 (明治学院大学教授) ISBN 978-4-86110-140-3 二刷 ¥3333

物権法概説

小泉健 (ノースアジア大学学長) ISBN 978-4-86110-221-9 ¥2800

エスノメトリロジーの可能性

椎野信雄 (文教大学教授) ISBN 978-4-86110-109-0 電子版のみ ¥4666

富士山学への招待―NPOが富士山と地域を救う

渡辺豊博 (NPO法人グランドワークス三島) ISBN 978-4-86110-229-5 ¥1500

失敗しないNPO―クラウドワークス三島の20年とイギリスに学ぶ

渡辺豊博 (NPO法人グランドワークス三島) 編著 ISBN 978-4-86110-353-7 ¥1500

ヴァールミーキはどへ行けばよいのか―現代インドの清掃人カースト差別と公衆衛生の民族誌

増木優衣 (日本学術振興会特別研究員) 編 ISBN 978-4-86110-353-7 ¥1500

インドの排泄物処理を含むサニテーションを担ってきた「清掃人カースト」ヴァールミーキの人びとの主体性や立場の変化を描き出す

ISBN 978-4-86110-827-3 ¥4500

今に向き合い、次につなぐ―諏訪大社御柱祭の祭礼民俗誌

石川俊介 (追手門学院大学講師) 編 ISBN 978-4-86110-847-0 ¥3300

「暴力」や「危険」や「伝統」や「素朴」だけではない。諏訪大社御柱祭の今の姿を「反復」の中にある「一回性」に着目しながら活写する。

ISBN 978-4-86110-848-8 ¥5000

チベット高原に咲く文化

チヨウ・ベンベン (北九州立大学研究員) ISBN 978-4-86110-847-0 ¥3300

タキ・オンコイ踊る病―植民地ヘルンにおけるシャーマニズム

軌山労働、水銀汚染 谷口智子 編 ISBN 978-4-86110-826-6 ¥4700

身体を彫る、世界を印す―イレブスミタトゥー

山本芳美 (都留文科大学教授) 他 編 ISBN 978-4-86110-803-7 二刷 ¥4000

「私らしさ」の民族誌―現代エジプトの女性

格差、欲望 鳥山純子 (立命館大学准教授) ISBN 978-4-86110-786-3 ¥2200

自著を語る

半田幸子

『戦間期チェコのモード記者 ミレナ・イエセンスカーの仕事 ―〈個〉が衣装をつくる』



博士論文が世に出てから数える約2年半で本書の刊行に至りました。私の場合は、約9年間という長い長い潜伏期間を経ての論文提出でしたので、そこから本書刊行までは、驚くほどあっという間で予想外のことでした。

この本は、ミレナ・イエセンスカーという、それまでフランツ・

カフカの周辺にいる女性として捉えられていた、一人のモード記者の仕事を読み解いたものです。本書の「はじめに」の中で詳しく書いていますが、まずは「1920年代のチェコのファッションとはどういうものだったのか」というテーマを考え、さらに絞るなかでモード記者としてのイエセンスカーに出会い、興味を持ったという流れです。

イエセンスカーの人生はなかなか波瀾に富んだもので、伝記として大変読み応えのある人物なのですが、ということは、そういう人が書いた記事は一体どういうものなのだろうか、そしてそれは当時のチェコ社会においてどんな意味があったのだろうかというところが終始一貫した関心事でした。

イエセンスカーの書いた記事をひたすら集め、その後はひたすら読み解き、それをどうまとめるのが私にできる最善なのか、考えあぐねた約9年間でした。彼女の記事は一文が長く、また回りくどい表現も多いので、外国人の私には非常に読みにくく苦戦しました。自分のチェコ語の能力のなさを日々嘆いていましたが、後で聞いたら、チェコ人にとっても回りくどくて読みにくいとのこと、気持ち的には少し救われました。その回りくどさは、本書にも表れているのではないかと思います。

巻末には記事一覧を収録していますが、作成には数年かかりました。私が後世に遺せる現実的なこととしてはまずその記事の所在を特定することだろうという思いが第一にありましたが、実はそれが一番好きな作業で、現地の図書館等ではいつもうきうきしていました。その際には、不思議なご縁にも恵まれました。プラハの国民図書館でノートを広げたま席を離れたところ、イタリアのカフカ研究者ガイド・マッシノ (Guido Massino) 氏が私のノートを見て声をかけてくださり、氏の紹介でチェコのイエセンスカー研究者マリエ・イラスコヴァ (Marie Jirásková) 氏にお会いすることができました。そのご縁も、この研究と書籍化への思いを強くするものでした。

今後、本書をきっかけに読者の多様な解釈に触れる機会に恵まれることを期待しつつ、更なる研究に励みたいと思います。

(10頁に本の紹介)

人類学

取るに足らないものたちの民族誌―チリにおける開発支援をめぐる人類学

内藤順子 (早稲田大学教授) 貧困者、支援者、弱者、専門家。彼らは何者でどのように世界を見ているのか。政府開発援助の現場における、人類学者のものがたと葛藤の記録。

ISBN 978-4-86110-825-9 ¥3800

揺り動かされるビントゥー寺院―現代インドの世俗主義、サティ、女神、寺院の公益性

田中鉄也 (中央大学准教授) 現代インドの公益信託や寺院の利害関係者に着目し、多文化化した「公益性」にもとづいて各寺院のあり方が形作られてきた経緯を考察。

ISBN 978-4-86110-856-3 ¥4000



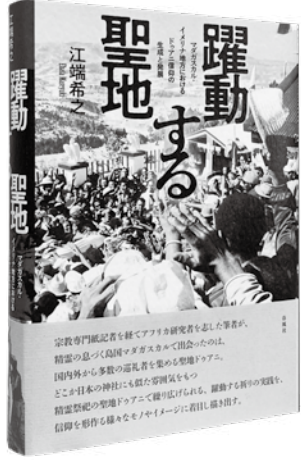


### 越境兵士の政治人類学

英国陸軍グルカ兵の軍務と市民権  
上杉妙子 (明治学院大学研究員)  
外国人兵士の軍務と市民権はいかにして結びつたのか。「傭兵」は果たして、便利な「道具」であるだけなのか。英国に雇用されてきたネパール出身グルカ兵に焦点を当て、軍隊と社会の「もつれた」関係を解きほぐす。  
A5判上製・五三八頁 定価(6,000円+税)  
ISBN 978-4-86110-725-2

### 躍動する聖地

マダガスカル・イメリナ地方におけるドウアニ信仰の生成と発展  
江端希之 (和布刈神社権禰宣)  
マダガスカル国内外から多数の巡礼者を集める、精霊祭祀の聖地ドウアニ。そこで繰り返される、躍動する祈りの実践を、信仰を形作る様々なモノやイメー지에着目し描き出す。  
A5判上製・四八〇頁 定価(5,200円+税)  
ISBN 978-4-86110-850-1



### 恵みありて、インジェラに集う

エチオピア正教徒の食をめぐる生活誌  
上村知春 (国立民族学博物館外来研究員)  
一年の半分を「断食」して過ごす、エチオピアのキリスト教徒たちにとって、「食べること」「食べないこと」は、どういうものなのか。インジェラやコーヒーといった食べ物・飲み物の生産・調理・消費からみる、「食」と宗教、そして生活。  
A5判上製・五四〇頁 定価(6,000円+税)  
ISBN 978-4-86110-829-7



まちづくりのエスノグラフィ―《つくば》を織り合わせる人類学的実践 早川公 (大阪国際大学准教授) ISBN 978-4-86110-626-2 二刷 電子版あり ¥3700  
流れをよそおうレバノンにおける相互行為の人類学 池田昭光 (明治学院大学助教) ISBN 978-4-86110-587-6 ¥3500  
建築人類学―読む・描く・造る 牧野冬生 (早稲田大学芸術学校准教授) ISBN 978-4-86110-539-5 ¥4000  
貧困と連帯の人類学―ブラジルの路上市場における二方的贈与 奥田若菜 (神田外国語大学准教授) ISBN 978-4-86110-532-6 電子版のみ ¥3700  
The Agricultural Mongols ボルジンギン・ブレンサイン (滋賀県立大学教授) ISBN 978-4-86110-543-2 ¥6000

「共感」へのアプローチ―文化人類学の第一歩 渥美一弥 (自治医科大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-497-8 三刷 ¥2000  
《紛争》の比較民族誌―グローバル化におけるオセアニアの暴力・民族対立・政治的混沌 丹羽典生 編著 ISBN 978-4-86110-482-4 ¥3700  
途上目的地―スヘイン・サンティアゴ徒歩巡礼路 旅の民族誌 土井清美 (二松学舎大学准教授) ISBN 978-4-86110-466-4 電子版のみ ¥4000  
Social Development, Culture, and Participation 阪本公美子 (宇都宮大学教授) ISBN 978-4-86110-174-8 電子版のみ ¥6476  
癒しと呪いの人類学 (第二版) 板垣明美 (横浜国立大学准教授) ISBN 978-4-921146-86-3 ¥2800

依存からひろがる人生機会―インド・スラム地域の人間開発と「子育ての民主化」 茶谷智之 ISBN 978-4-86110-677-4 ¥3700  
アフリカの森の女たち B・ヒューレット著 服部志帆・大石高典・戸田美佳子 訳 ISBN 978-4-86110-682-8 ¥3100  
カンボジア 共生の空間―慰霊・負の遺産・コミュニティ 牧野冬生・島崎裕子 著 ISBN 978-4-86110-661-3 ¥3600  
21世紀のメキシコ革命―オアハカのストーリー トアーティスタがつむぐ物語歌 山越英嗣 (都留文科大学准教授) ISBN 978-4-86110-675-0 ¥3600  
宗教と開発の人類学―グローバル化するポスト世俗主義と開発言説 石森大知・丹羽典生 編 ISBN 978-4-86110-651-4 ¥4000  
グローバル都市を生きる人々―イラン人・アスボラの民族誌 椿原敦子 (龍谷大学准教授) ISBN 978-4-86110-599-9 ¥3700

家族を生み出す―台湾をめぐる国際結婚の民族誌 横田祥子 (滋賀県立大学准教授) ISBN 978-4-86110-709-2 ¥3600  
インド・剥き出しの世界 田中雅一・石井美保・山本達也 編 ISBN 978-4-86110-665-1 ¥4800  
親子とは何か―ナイジェリア・ハウス社会における「里親養育」の民族誌 梅津綾子 (愛知学院大学他非常勤講師) ISBN 978-4-86110-723-8 ¥4100  
持続可能な開発における「文化」の居場所―「誰一人取り残さない」開発への応答 関根久雄 編 ISBN 978-4-86110-723-8 ¥4100  
アフリカにおけるジェンダーと開発―女性の収入向上支援と世帯内意思決定 甲斐田さよみ ISBN 978-4-86110-700-9 ¥4300  
現代世界の呪術―文化人類学的探究 川田牧人・白川千尋・飯田卓編 ISBN 978-4-86110-691-0 電子版のみ ¥4500  
同定の政治 転覆する声―アルゼンチンの「失踪者」と日系人 石田智恵 (早稲田大学准教授) ISBN 978-4-86110-678-1 ¥600

嗜好品から見える社会 大坪玲子 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所フェロシ・谷憲一) ISBN 978-4-86110-802-0 ¥4500  
ノールール―英国における民俗フットボールの歴史と文化 吉田文久 (日本福祉大学教授) ISBN 978-4-86110-783-2 ¥4300  
日系インドネシア人のエスノグラフィ―紡がれる日系人意識 伊藤雅俊 (日本大学助教) ISBN 978-4-86110-769-6 ¥4200  
東アジアにおける南島研究―南島史学会創立50周年記念論集 南島史学会 編 ISBN 978-4-86110-742-9 ¥5900  
病いと薬のヒストロリー―ヒマラヤ東部タワンにおけるチベット医学・漢薬・妖術の民族誌 長岡慶 (日本学術振興会特別研究員) ISBN 978-4-86110-710-8 ¥4000  
愛と共生のイスラーム―現代エチオピアのスーフィズムと聖者崇拜 石原美奈子 (南山大学教授) ISBN 978-4-86110-730-6 ¥6300  
エチオピア帝国再編と反乱(ワヤネ)―農民による帝国支配への挑戦 眞城百華 (上智大学教授) ISBN 978-4-86110-721-4 ¥4200

### 刊行予定 (タイトルは仮)

▼随想 京都学派の歴史哲学 小野寺功▼聞書集 聖霊はまことの息吹 小野寺功▼経験の息吹 異邦の哲学者 森野雄介▼仏教偏頗の研究 岩松浅夫▼カントの人権思想 菅沢龍文▼新井奥達選集 コールタニエル編▼幕末維新期における陽明学 古文英▼誕生と始まりの思想 出雲春明▼テカルトによる修練の哲学 津崎良典▼フィヒテ伝 湯浅正彦他訳▼ハイデガー生と存在の哲学 高井ゆと里▼「仮面」としてのディオニュソス 齋藤直樹▼ハンナ・アレントの政治哲学の射程 奥井剛▼現代のヒンドゥー・ナショナリズム イデオロギーの分析 近藤光博▼Contemporary Irish Plays 佐竹晶子▼「土佐日記」の言説研究 佐藤美弥子▼左伝の女たち 尾崎保子▼荒野へII 中井晨▼アグリマスに魅せられて 大月和彦▼深田晋▼T.S. Eliot 山口敦子▼ジョー・オートン 矢島直子▼バーナード・ショー戯曲集 森川寿他▼カフカ 死の軌跡 松原好次▼アロエ 宗洋訳▼ミルトン研究案内 ミルトン協会編▼空腹のアイランド 田多良俊樹▼アイルランド文学の核心 原田範行編▼スコットランドの詩と音楽 米山優子▼照山頭人編▼イギリス湖水地方 白井雅美▼19世紀小説の誕生 新野緑▼フランス魅惑と不安 北垣徹▼ドストエフスキー 木寺律子▼時空をかける詩人たち 江田孝臣▼ホダセウイ訳詩集 三好俊介▼アウター・ダーク 山口和彦訳▼我が土ナリ 佐藤晴雄訳▼作家・吉屋信子論 山田昭子▼メタファーから読む樋口一葉 笹川洋子▼精読「紅樓夢」 池間里代子▼長唄の世界へようこそII 細谷朋子▼伝承で読み解く文化―藤倉恵子▼ミットフォードとギネス一族の御曹司 大西俊男訳▼世紀転換期の思想と文学 清光大▼近代朝鮮文学と民衆 影本剛▼安部公房における境界と身体 岩本知恵▼東日本大震災後の文学と他者 加島正浩▼外交としての芸能 我部大和▼「エリザベト」の旅 関根裕子▼17〜18世紀のポランド演劇史 谷山和夫訳▼日本におけるヘル・カントの父 アドルフォ・サルコリ 直江学美▼益裁 川崎仁美▼1950〜60年代の宝塚歌劇における多様な取り組み 中本千晶▼The Essential Theatre 香西史子訳▼自律のための教育学 大川洋▼雑刀と学校教育 井上アヤ子▼健康自然塾 川村協平▼教育の理念・歴史・思想 藤井其貴▼中村美智太郎編▼大学の理念 豊崎光衛訳▼ジョン・テューイ教育思想の再解釈 生澤繁樹▼哲学教育論 生澤繁樹▼教育人間学の再検討 宮嶋秀光▼一般科学教授学綱要 牛田伸一訳▼教授学へのいざない 松田充▼宮本勇▼熊井将太郎▼赤津隆助の図画教育思想とその実践 増田金吾▼教育による包摂/排除に抗する児童福祉の理念 高田俊輔▼発達支援 その先へ 永井祐也▼暮らしの日本語 (スペイン語版) 長谷川哲子▼暗記嫌いのためのロジカル英語入門 佐藤美弥子▼ことばと教育 橋本ゆかり▼国際日本学の探究 徳永光展▼The Discourse Marker Wait as an Interpersonal Management Marker In Spoken Discourse 高村遼▼相互行為としての英語学習 泉谷律子▼文化という名の開発 土屋正臣▼現代中東政治学 末近浩太▼新聞4コマ漫画と内閣総

出版をお考えの方へ  
清新なお原稿をお待ちしています。  
お気軽にお問い合わせください。

### 春風接人

ただいま二十四期目の弊社、おそろしくこの六月に刊行点数が千点に達します。集うみなさまのおかげ、ありがとうございます。学術書の出版社として、今後にも、学問の応援団をつづけたい。そのために倦まず弛まず、いろいろなところに顔を出し、専門家、研究者、実践家の方の話を耳を傾けたい。じぶんの腹と頭と胸で消化し、本をつくり、つなげ、これから生まれてくる人びとの役に立ちたい。ディレクターに甘んじ、人と、世界とつながってまいります。(三)

春風新聞 第三号 二〇二三年五月六日発行  
発行者：三浦衛 発行所：春風社  
印刷：シナノ書籍印刷 レイアウト：矢萩多聞